

徳崎高等学校令和5年度 教科理科 科目自選物理 年間授業計画

教 科：理科 科目： 自由選択 物理 単位数： 4単位
対象学年組： 第3学年 選択者)
教科担当者：（上平）
使用教科書：（物理 実教出版）
使用教材：（レッツトライノート 物理 力学編&熱・波編&電磁気編）

	指導内容	物理の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4月	平面内の運動 1：力と運動	速さ、距離をベクトルで表現できることを知る。相対速度をベクトルを用いて考えられることを知る。等速直線運動から等加速度直線運動の公式を導けることを知る。	考查と授業態度および提出状況を総合して評価する。	8
	平面内の運動 1：力と運動 2：剛体	放物運動が等速直線運動と等加速度直線運動に分けて考えられることに気づく。モーメントが回転を表す物理量であることを知る。剛体の静止条件を知る。		
	平面内の運動 2：剛体	壁に立てかけた棒が滑らない条件やくりぬいた剛体の重心の位置をモーメントを使って考えられることを知る。また剛体が転倒する条件もモーメントを使って考えられることを知る。		
5月	運動量の保存 1：運動量と力積 2：運動量保存 3：反発係数	力積が Δp であることを理解できる。一直線上の運動量保存を理解できる。角度のある運動量保存を理解できる。反発係数を相対速度で理解できる。物体の跳ね返りを反発係数を用いて考えられる。	考查と授業態度および提出状況を総合して評価する。	10
	運動量の保存 1：運動量と力積 2：運動量保存 3：反発係数	衝突で成立する保存則を知る。衝突における力積を考えられる。二球衝突問題や二物体接触問題を運動量保存やエネルギー保存で考えることができる。		
	気体分子の運動 1：気体のエネルギーと状態変化 中間考査	ボイルシャルルの法則と気体状態方程式を理解できる。気体分子運動論を理解できる。		
6月	気体分子の運動 1：気体のエネルギーと状態変化	熱力学第一法則をエネルギーの収支で理解できる。熱力学第一法則を用いて定圧、定積、等温、断熱変化を考えられる。熱機関の効率を考えられる。熱力学の問題を考えられる。	考查と授業態度および提出状況を総合して評価する。	14
	円運動と単振動 1：等速円運動 2：単振動	物体が円運動するための条件を理解できる。円運動を表す物理量を計算できる。単振動を円運動の考え方につかて考えられる。		
	円運動と単振動 1：等速円運動 2：単振動	物体が円運動するための条件を理解できる。円運動を表す物理量を計算できる。単振動を円運動の考え方につかて考えられる。		
	円運動と単振動 1：等速円運動 2：単振動	単振動のエネルギーを考えることができる。円運動、単振動を数式を使って考えることができる。		
	円運動と単振動、万有引力 1：等速円運動 2：単振動 3：万有引力	円運動、単振動を数式を使って考えることができる。ケプラーの法則を理解できる。万有引力から万有引力による位置エネルギーを理解できる。		
7月	期末考査 円運動、万有引力 3：万有引力	ケプラーの法則、万有引力、万有引力による位置エネルギーを使って力学的に惑星の運動を考えることができる。。	考查と授業態度および提出状況を総合して評価する。	4
	2：波 波の伝わり方 音の伝わり方	波動の性質の干渉、屈折、反射の復習する。波を数式サインで表現できることを知る。音波の性質、固有振動数やドップラー効果の復習をする。		
8月				
9月	2：波 音の伝わり方 光	ドップラー効果の公式で振動数を求める。光の基礎知識を知り、光の反射と屈折を波動の理論で考えられることを知る。	考查と授業態度および提出状況を総合して評価する。	14
	2：波 光	光の屈折率、浮き上がり、全反射について作図、公式を活用できる。ヤングの干渉を波動の干渉で考えることができることを知る。		
	2：波 光	回折格子、薄膜の干渉をヤングの干渉の考え方を使えることを知る。ニュートンリング、くさびの干渉の考え方を使えることを知る。干渉は光路差で考える理解する。		
10月	2：波 光	答案返却。偏向、分散、散乱について知る。凸凹レンズの作図ができる。凸レンズの公式を図で理解する。	考查と授業態度および提出状況を総合して評価する。	14
	電場と電流 1：静電気 2：動電気 中間考査	静電気、動電気の区別ができる。静電誘導と誘電分極の違いを理解できる。点電荷がつくる電界と電界から受ける力を理解できる。		
	電場と電流 1：静電気 2：動電気	点電荷がつくる電界と電位の違いを理解できる。電界と電位を力学を使って考えることができる。		

	指導内容	物理の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
	電場と電流 2：動電気 3：直流回路	電流を説明できる。電流計と電圧計の内部抵抗の特徴を理解できる。オームの法則が抵抗で成立することが理解できる。		
11 月	電場と電流 2：動電気 3：直流回路	合成抵抗を理解できる。電気エネルギーを理解できる。回路の電位を考慮することができる。キルヒホッフの法則を理解できる。	考查と授業態度および提出状況を総合して評価する。	16
	電場と電流 2：動電気 3：直流回路	コンデンサーが電荷を蓄える仕組みを理解できる。コンデンサーの合成容量の考えを理解できる。コンデンサーのエネルギーを計算できる。回路におけるコンデンサーの電荷保存の法則を理解できる。		
	電場と電流 3：直流回路	回路におけるコンデンサーの電荷保存の法則を理解できる。		
	電流と磁場 1：磁場 2：ローレンツ力	磁界を電界の考え方で理解できる。直線電流、円電流とソレノイドコイルがつくる磁界を計算できる。ローレンツ力を理解できる。磁界中の電荷の運動を考慮することができる。電磁誘導を考慮することができる。		
12 月	電流と磁場 3：電磁誘導 期末考查	電流と磁石の等価性を理解できる。電磁誘導を考慮することができる。	考查と授業態度および提出状況を総合して評価する。	6
	交流 1：交流の発生 2：自己誘導と相互誘導 3：交流回路	自己誘導と相互誘導を理解できる。コイルのエネルギーを計算できる。		
1 月	交流 1：交流の発生 2：自己誘導と相互誘導 3：交流回路	交流発電の仕組みを理解できる。交流での抵抗、コンデンサー、コイルの役割を理解できる。RLC直列回路と電気振動を理解できる。	考查と授業態度および提出状況を総合して評価する。	10
	原子 1：光の二重性 2：物質波 3：原子構造とエネルギー順位	光電効果を理解できる。ミリカンの油滴実験を理解できる。X線の発生の仕組みが理解できる。X線の干渉が理解できる。		
2 月	期末考查			
3 月				

指導内容	物理の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
------	-------------	----------	----------

12

篠崎高等学校令和5年度 教科 数学 科目 自選数学Ⅲ 年間授業計画

教 科： 数学 科 目： 数学Ⅲ 単位数： 6単位
対象学年組： 第3学年選択者
教科担当者： 山田
使用教科書：（ 数学ⅢStandard【東京書籍】 ）
使用教材：（ 改訂版 書き込みシリーズ 標準 S t u d y - U p ノート 数学Ⅲ ）

	指導内容	科目〇〇の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4月	1章 平面上の曲線 1節 2次曲線 1 放物線 2 楕円 3 双曲線 4 2次曲線と平行移動 5 2次曲線と直線 2節 媒介変数表示と極座標 1 媒介変数表示	・放物線の焦点と準線を求め、その概形をかくことができる。 ・楕円の焦点を求め、その概形をかくことができる。 ・双曲線の焦点を求め、その概形をかくことができる。 ・平行移動した曲線の方程式を求めることができる。 ・媒介変数表示が、どのような曲線を表しているかを求めることができる。	学習活動への取り組み、課題、提出物の状況、定期考査を総合して評価をする。	12
5月	2 極座標と極方程式 3 いろいろな曲線 問題演習 2章 複素数平面 1節 複素数平面 1 複素数平面 2 複素数の極形式 2節 複素数の応用 1 ド・モアブルの定理 2 図形への応用 問題演習	・用語の意味を正しく理解し、極方程式を直交座標に関する方程式で表すことができる。また、その逆を行うことができる。 ・様々な媒介変数表示された曲線について、その特徴を理解する。 ・複素数平面を用いて、複素数の和と差及び2点間の距離を求めることができる。 ・複素数を極形式で表し、それを用いて複素数の積や商を求めることができる。 ・ド・モアブルの定理を用いて、1のn乗根や方程式を求めることができる。 ・様々な等式を満たす点の軌跡が、複素数平面上でどのような図形をえがくか、について理解する。	学習活動への取り組み、課題、提出物の状況、定期考査を総合して評価をする。	16
6月	3章 関数と極限 1節 関数 1 分数関数とそのグラフ 2 無理関数とそのグラフ 3 逆関数と合成関数 2節 数列の極限 1 数列の極限 2 数列{r _n }の極限 3 無限級数 3節 関数の極限 1 関数の極限 2 いろいろな関数と極限 3 関数の連続性 問題演習	・分数関数のグラフをかき、それを用いて方程式や不等式を解くことができる。 ・無理関数のグラフをかき、それを用いて方程式や不等式を解くことができる。 ・様々な関数の逆関数や合成関数を求めることができる。 ・様々な数列の極限値を求めることができる。 ・無限等比数列の極限の性質を理解し、その極限値を求めることができる。 ・無限等比級数やその他の無限級数の和を求めることができる。 ・基本的な関数の極限値を求めることができる。 ・指数関数や対数関数及び三角関数の極限値を求めることができる。 ・連続関数の意味について理解する。 ・中間値の定理について理解し、それを用いて証明問題を解くことができる。	学習活動への取り組み、課題、提出物の状況、定期考査を総合して評価をする。	26
7月	4章 微分 1節 微分法 1 導関数	・関数の微分可能と連続について理解する。 ・簡単な関数の微分をすることができる。	学習活動への取り組み、課題、提出物の状況、定期考査を総合して評価をする。	2

	指導内容	科目〇〇の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
8月				
9月	2 積・商の微分法 3 合成関数の微分法 2節 いろいろな関数の導関数 1 三角関数の導関数 2 対数関数・指数関数の導関数 3 高次導関数 問題演習 5章 微分の応用 1節 接線，関数の増減 1 接線の方程式	・積の微分法と商の微分法を用いて、関数を微分することができる。 ・合成関数や逆関数の微分法を用いて、関数を微分することができる。 ・三角関数の和と積の変換公式を正しく活用することができる。 ・三角関数の導関数を求めることができる。 ・対数関数や指数関数の導関数を求めることができる。 ・無理関数、指数関数、対数関数のグラフ及び楕円における接線の方程式を求めることができる。	学習活動への取り組み、課題、提出物の状況、定期考査を総合して評価をする。	18
10月	2 平均値の定理 3 関数の増減 4 関数の極大・極小 5 第2次導関数とグラフ 2節 いろいろな微分の応用 1 最大・最小 2 方程式，不等式への応用 3 媒介変数で表された関数の微分 4 速度・加速度 5 近似式 問題演習	・平均値の定理を用いて、不等式の証明をすることができる。 ・関数の増減表をかき、極値を求めることができる。 ・第2次導関数を用いて曲線の凹凸を調べ、グラフをかくことができる。 ・増減表を用いて、関数の最大値や最小値を求めることができる。 ・関数を用いて、不等式の証明や方程式の異なる実数解の個数を求めることができる。 ・媒介変数で表された関数のグラフについて、接線の方程式を求めることができる。 ・導関数を用いて、速度や加速度の大きさを求めることができる。 ・関数の値の近似値を用いて、具体的な数の近似値を求めることができる。	学習活動への取り組み、課題、提出物の状況、定期考査を総合して評価をする。	20
11月	6章 積分とその応用 1節 不定積分 1 不定積分 2 置換積分法 3 部分積分法 4 いろいろな関数の不定積分 2節 定積分 1 定積分 2 定積分の置換積分法 3 偶関数と奇関数の定積分 4 定積分の部分積分法 5 定積分で表された関数	・三角関数の不定積分を求めることができる。 ・置換積分法を用いて、不定積分を求めることができる。 ・部分積分法を用いて、不定積分を求めることができる。 ・部分分数分解や半角の公式を用いて、不定積分を求めることができる。 ・絶対値のついた関数の定積分を求めることができる。 ・置換積分法を用いて、定積分を求めることができる。 ・偶関数や奇関数の性質を用いて、定積分を求めることができる。 ・部分積分法を用いて、定積分を求めることができる。 ・微分と積分の関係を用いて、関数を微分することができる。	学習活動への取り組み、課題、提出物の状況、定期考査を総合して評価をする。	20

	指導内容	科目〇〇の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配 当 時 数
12 月	3 節 定積分の応用 1 面積 2 体積	・グラフをかき、定積分を用いて様々な図形の面積を求めることができる。 ・座標軸のまわりの回転体の体積を求めることができる。	学習活動への取り組み、課題、提出物の状況、定期考査を総合して評価をする。	6
1 月	3 曲線の長さや道のり 4 定積分と区分求積法 5 定積分と不等式 問題演習	・導関数及び定積分を用いて、曲線の長さや道のりを求めることができる。 ・区分求積法の考え方や意味について理解し、極限値を求めることができる。 ・定積分を含む不等式を証明することができる。	学習活動への取り組み、課題、提出物の状況、定期考査を総合して評価をする。	10
2 月				
3 月				

篠崎高等学校令和5年度 教科保健体育 科目スポーツⅡ 年間授業計画

教 科：保健体育 科 目：スポーツⅡ 単位数： 2単位
対象学年組： 第3学年1組～7組
教科担当者：野木・美濃越
使用教科書：（ステップアップ高校スポーツ2021）
使用教材：（ ）

	指導内容	科目〇〇の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4月				4
5月				6
6月	・ソフトボール ・バレーボール	〈ソフトボール〉 ○生涯を通してスポーツの振興発展にかかわることのできる姿勢を身に付けさせる。 ○ソフトボールの専門的な理解と高度な技能を身に付けさせる。 ○ゲームの中でポジションを意識させる。 ○チームや個人の技能に応じた戦術、作戦を重視した攻防をできるようにする。 ○チームプレーや連携プレーを身に付けさせる。 〈バレーボール〉 ○生涯を通してスポーツの振興発展にかかわることのできる姿勢を身に付けさせる。 ○バレーボールの専門的な理解と高度な技能を身に付けさせる。 ○ゲームの中でポジションを意識させる。 ○チームや個人の技能に応じた戦術、作戦を重視した攻防をできるようにする。	○主体的に活動に取り組む。 （観察） ○基本的な運動技能が身に付く。 （観察・実技テスト） ○ゲームの中で戦術的な動きができる。 （観察・記録） ○自己の課題を解決しようとしている。 （観察・記録）	10
7月				

	指導内容	科目〇〇の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配 当 時 数
8 月				
9 月				8
10 月				6
11 月	・サッカー ・バスケットボール	〈サッカー〉 ○生涯を通してスポーツの振興発展にかかわることのできる姿勢を身に付けさせる。 ○サッカーの専門的な理解と高度な技能を身に付けさせる。 ○ゲームの中でポジションを意識させる。 ○チームや個人の技能に応じた戦術、作戦を重視した攻防をできるようにする。 ○チームプレーや連係プレーを身に付けさせる。	○主体的に活動に取り組む。 （観察） ○基本的な運動技能が身に付く。 （観察・実技テスト） ○ゲームの中で戦術的な動きができる。 （観察・記録） ○自己の課題を解決しようとしている。 （観察・記録）	6

	指導内容	科目〇〇の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配 当 時 数
12 月				4
1 月	・テニス ・バドミントン	〈テニス〉 ○生涯を通してスポーツの振興発展にかかわることのできる姿勢を身に付けさせる。 ○テニスの専門的な理解と高度な技能を身に付けさせる。 ○ゲームの中でポジションを意識させる。 ○シングルス・ダブルスの戦術を身に付けさせる。 ○ダブルスにおいて、ペアと連係したプレーを身に付けさせる。 〈バドミントン〉 ○生涯を通してスポーツの振興発展にかかわることのできる姿勢を身に付けさせる。 ○バドミントンの専門的な理解と高度な技能を身に付けさせる。 ○シングルス・ダブルスの戦術を身に付けさせる。 ○ダブルスにおいて、ペアと連係したプレーを身に付けさせる。	○主体的に活動に取り組む。 (観察) ○基本的な運動技能が身に付く。 (観察・実技テスト) ○ゲームの中で戦術的な動きができる。 (観察・記録) ○自己の課題を解決しようとしている。 (観察・記録)	4
2 月				
3 月				

篠崎高等学校令和5年度 教科 外国語 科目自選 英語理解 年間授業計画

教 科：外国語（英語） 科 目：自選 英語理解 単位数： 2単位
対象学年組： 第〇学年〇組～〇組）
教科担当者：（ 1～7組：竹内）
使用教科書：（ 基礎から学ぶ英語プレゼンテーション ）
使用教材：（ 基礎から学ぶ英語プレゼンテーション、 Power Presentation

	指導内容	科目 英語理解の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4月	春期休業			
	Self Introduction Unit 1 Greeting Started	英語でのプレゼンの基本を見つけさせる 目線、表情、声量を意識させる	3観点（eye contact, Facial expression, Volume） を3段階で評価	2
	Unit2 Voice	英語でのプレゼンの基本を見つけさせる 声の強弱、区切りを意識させる	3観点（eye contact, Facial expression, Volume） を3段階に加え、2観点（Voice emphasis, pausing） の計5観点を3段階で評価	2
5月	Unit3 Gestures	英語でのプレゼンの基本を見つけさせる 姿勢、身振りを意識させる	6観点（eye contact, Facial expression, Volume, Voice emphasis, pausing, gesture） を総合的に3段階で評価	2
	新聞作成	プレゼンをしたい内容をグループで考え、パワーポイントを作成		2
	新聞作成	プレゼンをしたい内容をグループで考え、パワーポイントを作成		2
	中間考査			
6月	新聞作成	プレゼンをしたい内容をグループで考え、パワーポイントを作成		2
	新聞作成	プレゼンをしたい内容をグループで考え、パワーポイントを作成		2
	グループ発表	Unit 1～3までの内容を確認し、プレゼンさせる	6観点（eye contact, Facial expression, Volume, Voice emphasis, pausing, gesture） を総合的に3段階で評価	2
	グループ発表	Unit 1～3までの内容を確認し、プレゼンさせる	6観点（eye contact, Facial expression, Volume, Voice emphasis, pausing, gesture） を総合的に3段階で評価	2
7月	1学期期末考査			
	Unit 4 Q&A Skills	プレゼン中にQ&A 入れるなど工夫をさせる	6観点（eye contact, Facial expression, Volume, Voice emphasis, pausing, gesture） を総合的に3段階で評価	2

	指導内容	科目 英語理解の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
8月	夏期休業			
9月				
	Unit 5 Visuals	プレゼン資料の作成 パワーポイントを効果的に作成させる	6 観点 (eye contact, Facial expression, Volume, Voice emphasis, pausing, gesture) を総合的に3段階で評価	2
	Unit 5 Visuals	プレゼン資料の作成 パワーポイントを効果的に作成させる	6 観点 (eye contact, Facial expression, Volume, Voice emphasis, pausing, gesture) を総合的に3段階で評価	2
	Unit 5 Visuals	プレゼン資料の作成 パワーポイントを効果的に作成させる	6 観点 (eye contact, Facial expression, Volume, Voice emphasis, pausing, gesture) を総合的に3段階で評価	2
10月	Unit 6 Rehearsals	作成したプレゼンの内容をペアまたはグループで確認し、練習させる。	生徒同士で6 観点をもとに、評価させる。	2
	Unit 6 Rehearsals	作成したプレゼンの内容をペアまたはグループで確認し、練習させる。	生徒同士で6 観点をもとに、評価させる。	2
	Unit 6 Rehearsals	作成したプレゼンの内容をペアまたはグループで確認し、練習させる。	生徒同士で6 観点をもとに、評価させる。	2
	Unit 6 Rehearsals	作成したプレゼンの内容をペアまたはグループで確認し、練習させる。	生徒同士で6 観点をもとに、評価させる。	2
11月				
	Unit 7 On Stage	リラックスして発表させる	6 観点 (eye contact, Facial expression, Volume, Voice emphasis, pausing, gesture) を総合的に3段階で評価	2
	Unit 7 On Stage	リラックスして発表させる	6 観点 (eye contact, Facial expression, Volume, Voice emphasis, pausing, gesture) を総合的に3段階で評価	2

	指導内容	科目 英語理解の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
12月	Unit 7 On Stage	リラックスして発表させる	6 観点 (eye contact, Facial expression, Volume, Voice emphasis, pausing, gesture)を総合的に3段階で評価	2
	2学期期末考查			
	冬期休業			
1月	Extra Skill Unit I～Ⅲ	• Group Presentation • Using Data Graphs • Speaking More Fluently	6 観点 (eye contact, Facial expression, Volume, Voice emphasis, pausing, gesture)を総合的に3段階で評価	2
	Extra Skill Unit I～Ⅲ	• Group Presentation • Using Data Graphs • Speaking More Fluently	6 観点 (eye contact, Facial expression, Volume, Voice emphasis, pausing, gesture)を総合的に3段階で評価	2
2月				
	学年末考查			
3月				

篠崎高等学校令和5年度 教科国語科目国語総合 年間授業計画

教 科：国語 科 目：国語総合 単位数： 2単位
対象学年組： 第3学年 1組～7組）
教科担当者：名取 祐美
使用教科書：（ 東京書籍「精選国語総合」 ）
使用教材：（ 数研出版「必携国語常識ベーシック」、京都書房「テスト式国語常識の総演習」）

	指導内容	科目国語総合の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4月	基礎編 第一回・第二回	進路対策として国語における一般教養を養うため、問題形式の教科書に解答させる。小テスト（100点満点）を毎時行う。採点させ、提出させる。随時、質問をうけ、解説を行う。	解答に取り組んだか。公正に、採点したか。苦手な項目・得意な項目を自分で確認したか。	2
	基礎編 第三回・第四回	進路対策として国語における一般教養を養うため、問題形式の教科書に解答させる。小テスト(100点満点)を毎時行う。採点させ、提出させる。随時、質問をうけ、解説を行う。	解答に取り組んだか。公正に、採点したか。苦手な項目・得意な項目を自分で確認したか。	2
5月	基礎編 第五回・第六回	進路対策として国語における一般教養を養うため、問題形式の教科書に解答させる。小テスト（100点満点）を毎時行う。採点させ、提出させる。随時、質問をうけ、解説を行う。	解答に取り組んだか。公正に、採点したか。苦手な項目・得意な項目を自分で確認したか。	2
	基礎編 第七回・第八回	進路対策として国語における一般教養を養うため、問題形式の教科書に解答させる。小テスト(100点満点)を毎時行う。採点させ、提出させる。随時、質問をうけ、解説を行う。	解答に取り組んだか。公正に、採点したか。苦手な項目・得意な項目を自分で確認したか。	2
	基礎編 第九回・第十回	進路対策として国語における一般教養を養うため、問題形式の教科書に解答させる。小テスト(100点満点)を毎時行う。採点させ、提出させる。随時、質問をうけ、解説を行う。	解答に取り組んだか。公正に、採点したか。苦手な項目・得意な項目を自分で確認したか。	2
6月	基礎編 第十一回・第十二回	進路対策として国語における一般教養を養うため、問題形式の教科書に解答させる。小テスト（100点満点）を毎時行う。採点させ、提出させる。随時、質問をうけ、解説を行う。	解答に取り組んだか。公正に、採点したか。苦手な項目・得意な項目を自分で確認したか。	2
	文学史編 第一回・第二回	進路対策として国語における一般教養を養うため、問題形式の教科書に解答させる。小テスト(100点満点)を毎時行う。採点させ、提出させる。随時、質問をうけ、解説を行う。	解答に取り組んだか。公正に、採点したか。苦手な項目・得意な項目を自分で確認したか。	2
	一学期の復習 授業内期末考査	進路対策として国語における一般教養を養うため、問題形式の教科書に解答させる。期末テスト(100点	解答に取り組んだか。公正に、採点したか。苦手な項目・得意な項目を自分で確認したか。	2
	テスト返却 基礎編・文学史編	進路対策として国語における一般教養を養うため、問題形式の教科書に解答させる。小テスト(100点満点)を毎時行う。採点させ、提出させる。随時、質問をうけ、解説を行う。	解答に取り組んだか。公正に、採点したか。苦手な項目・得意な項目を自分で確認したか。	2
7月				

	指導内容	科目国語総合の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
8月				
9月	演習編 第一回・第二回	進路対策として国語における一般教養を養うため、問題形式の教科書に解答させる。小テスト（100点満点）を毎時行う。採点させ、提出させる。随時、質問をうけ、解説を行う。	解答に取り組んだか。公正に、採点したか。苦手な項目・得意な項目を自分で確認したか。	2
	演習編 第三回・第四回	進路対策として国語における一般教養を養うため、問題形式の教科書に解答させる。小テスト(100点満点)を毎時行う。採点させ、提出させる。随時、質問をうけ、解説を行う。	解答に取り組んだか。公正に、採点したか。苦手な項目・得意な項目を自分で確認したか。	2
10月	演習編 第五回・第六回	進路対策として国語における一般教養を養うため、問題形式の教科書に解答させる。小テスト（100点満点）を毎時行う。採点させ、提出させる。随時、質問をうけ、解説を行う。	解答に取り組んだか。公正に、採点したか。苦手な項目・得意な項目を自分で確認したか。	2
	演習編 第七回・第八回	進路対策として国語における一般教養を養うため、問題形式の教科書に解答させる。小テスト(100点満点)を毎時行う。採点させ、提出させる。随時、質問をうけ、解説を行う。	解答に取り組んだか。公正に、採点したか。苦手な項目・得意な項目を自分で確認したか。	2
	演習編 第九回・第十回	進路対策として国語における一般教養を養うため、問題形式の教科書に解答させる。小テスト(100点満点)を毎時行う。採点させ、提出させる。随時、質問をうけ、解説を行う。	解答に取り組んだか。公正に、採点したか。苦手な項目・得意な項目を自分で確認したか。	2
	演習編 第十一回・第十二回	進路対策として国語における一般教養を養うため、問題形式の教科書に解答させる。小テスト(100点満点)を毎時行う。採点させ、提出させる。随時、質問をうけ、解説を行う。	解答に取り組んだか。公正に、採点したか。苦手な項目・得意な項目を自分で確認したか。	2
11月	演習編 第十三回・第十四回	進路対策として国語における一般教養を養うため、問題形式の教科書に解答させる。小テスト（100点満点）を毎時行う。採点させ、提出させる。随時、質問をうけ、解説を行う。	解答に取り組んだか。公正に、採点したか。苦手な項目・得意な項目を自分で確認したか。	2
	二学期の復習 授業内期末考査	進路対策として国語における一般教養を養うため、問題形式の教科書に解答させる。期末テスト(100点	解答に取り組んだか。公正に、採点したか。苦手な項目・得意な項目を自分で確認したか。	2

	指導内容	科目国語総合の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配 当 時 数
12 月	テスト返却 演習編 第十五回・十六回	進路対策として国語における一般教養を養うため、問題形式の教科書に解答させる。小テスト（100点満点）を毎時行う。採点させ、提出させる。随時、質問をうけ、解説を行う。	解答に取り組んだか。公正に、採点したか。苦手な項目・得意な項目を自分で確認したか。	2
1 月	演習編 第17回～20回	進路対策として国語における一般教養を養うため、問題形式の教科書に解答させる。小テスト（100点満点）を毎時行う。採点させ、提出させる。随時、質問をうけ、解説を行う。	解答に取り組んだか。公正に、採点したか。苦手な項目・得意な項目を自分で確認したか。	2
	1年間の復習 授業内学年末考査	進路対策として国語における一般教養を養うため、問題形式の教科書に解答させる。期末テスト(100点	解答に取り組んだか。公正に、採点したか。苦手な項目・得意な項目を自分で確認したか。	2
2 月				
3 月				

篠崎高等学校令和5年度 教科理科科目生物 年間授業計画

教 科：理科 科 目：生物 単位数：4単位

対象学年組：第3学年

教科担当者：名古屋

使用教科書：（ 高等学校 改訂 生物 第一学習社 ）

使用教材：（ セミナー生物、十訂版 スクエア最新図説生物neo ）

	指導内容	科目生物の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4 月	細胞と分子	生物体を構成する主要な物質の化学的な特性を理解する。 細胞小器官のはたらきを理解する。	テスト、プリント	6
5 月	代謝	代謝とエネルギーの関係やATPの役割を理解する。 光合成、呼吸の過程を理解する。	テスト、プリント	10
	遺伝情報の発現	遺伝情報にもとづいてタンパク質が合成される過程を理解する。 バイオテクノロジーの応用について理解する。	テスト、プリント	
6 月	遺伝情報の発現	遺伝情報にもとづいてタンパク質が合成される過程を理解する。 バイオテクノロジーの応用について理解する。	テスト、プリント	16
	生殖と発生	減数分裂と受精を経て、遺伝子の組み合わせが多様になることを理解する。 動物が受精卵から複雑なからだをつくりあげる過程について、理解する。		
7 月				0

	指導内容	科目生物の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配 当 時 数
8 月				
9 月	生物の環境応答	植物が環境の情報を受容し、情報に応じて生活することを理解する。 受容体や植物ホルモンによる植物の環境応答のしくみを理解する。	テスト、プリント	12
10 月	生物の環境応答	植物が環境の情報を受容し、情報に応じて生活することを理解する。 受容体や植物ホルモンによる植物の環境応答のしくみを理解する。	テスト、プリント	12
11 月	生物群集と生態系	個体群の特徴とその変動について理解する。 個体群内や個体群体にみられる生物間の相互作用について理解する。	テスト、プリント	16

	指導内容	科目生物の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配 当 時 数
12 月	生物の進化	進化は突然変異、自然選択、遺伝的浮動の3つの要因によって起こることを理解する。	テスト、プリント	4
1 月	生物の進化	進化は突然変異、自然選択、遺伝的浮動の3つの要因によって起こることを理解する。	テスト、プリント	10
2 月				
3 月				

篠崎高等学校令和5年度 教科理科 科目生物基礎演習 年間授業計画

教 科：理科 科 目：生物基礎演習 単位数： 2単位
対象学年組： 第3学年
教科担当者：名古屋
使用教科書：（ 改訂 新編 生物基礎 ）
使用教材 ：（ 十訂版 スクエア最新図説生物 ， セミナー生物基礎 ）

	指導内容	生物基礎の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4月	生物の特徴 生物の多様性と共通性	生物の共通性と多様性 ・顕微鏡の使い方を習得する。 ・顕微鏡、校内植物の観察により生物の特徴をとらえる。 ・生物の共通性・多様性に関する知識・技能の定着を図る。 ・レポート（課題設定、仮説、検証方法、結果、考察）の書き方を学ぶ。 ・スケッチの描き方を習得する。	授業態度、授業中の演習の様子、実験に対する取り組み、レポート等の提出物を総合的に評価する。	8
5月	生物の特徴 生命活動とエネルギー	生命活動とエネルギー ・生命活動に必要なエネルギーと代謝について理解する。 ・カタラーゼの実験から、酵素反応の特徴や酵素の性質を見出す。 ・酵素の特徴について、文章で説明することができる。	授業態度、授業中の演習の様子、実験に対する取り組み、レポート等の提出物を総合的に評価する。	6
6月	生物の特徴 生命活動とエネルギー	生命活動とエネルギー ・生命活動に必要なエネルギーと代謝について理解する。 ・カタラーゼの実験から、酵素反応の特徴や酵素の性質を見出す。 ・酵素の特徴について、文章で説明することができる。	授業態度、授業中の演習の様子、実験に対する取り組み、レポート等の提出物を総合的に評価する。	6
7月	生物に関する本を読み、発表する	・図書館で生物に関する本を探し、読みたい1冊を決める。 ・本を紹介するパワーポイントを作成する。 ・発表し、他の生徒の発表の評価を行う。	授業態度、授業中の演習の様子、実験に対する取り組み、レポート等の提出物を総合的に評価する。	4

	指導内容	生物基礎の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
8月				
9月	生物の共通性と多様性 遺伝子とそのはたらき	遺伝子とそのはたらき ・ 遺伝情報を担う物質であるDNAの特徴を理解する。 ・ DNA抽出の実験を行い、生物が遺伝情報としてDNAをもつことを実験結果から理解する。 ・ さまざまな生物からDNAを抽出する方法を考える。	授業態度、授業中の演習の様子、実験に対する取り組み、レポート等の提出物を総合的に評価する。	6
10月	生物の共通性と多様性 遺伝子とそのはたらき	遺伝子とそのはたらき ・ 制限酵素処理、電気泳動の原理を理解し、実験する。 ・ ウニの発生を観察し、受精卵から個体ができるまでの過程を理解する。	授業態度、授業中の演習の様子、実験に対する取り組み、レポート等の提出物を総合的に評価する。	6
11月	生物の体内環境の維持 体液の恒常性、自律神経系とホルモン	体液の恒常性、自律神経系とホルモン ・ 体内環境が保たれている仕組みや保つことの必要性を理解する。 ・ 生物の解剖を通して、動物の体のつくりを理解する。	授業態度、授業中の演習の様子、実験に対する取り組み、レポート等の提出物を総合的に評価する。	6

	指導内容	生物基礎の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配 当 時 数
12 月	生物の体内環境の維持 体液の恒常性、自律神経系とホルモン	体液の恒常性、自律神経系とホルモン ・体内環境が保たれている仕組みや保つことの必要性を理解する。 ・生物の解剖を通して、動物の体のつくりを理解する。	授業態度、授業中の演習の様子、実験に対する取り組み、レポート等の提出物を総合的に評価する。	2
1 月	生物の体内環境の維持 体液の恒常性、自律神経系とホルモン	体液の恒常性、自律神経系とホルモン ・体内環境が保たれている仕組みや保つことの必要性を理解する。 ・生物の解剖を通して、動物の体のつくりを理解する。	授業態度、授業中の演習の様子、実験に対する取り組み、レポート等の提出物を総合的に評価する。	4
2 月				
3 月				

篠崎高等学校令和5年度 外国語 異文化理解 年間授業計画

教 科：外国語 科 目：異文化理解 単位数：2単位
対象学年組：第3学年選択希望者41名（うち22名は木曜、19名は金曜に実施）
教科担当者：（木曜：高橋）（金曜：高橋）
使用教科書：（WELCOME TO NIPPON!（朝日出版））
使用教材：（Joy Reader①（数研出版））

	指導内容	異文化理解の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4月				
	オリエンテーション	1年間の学習の流れを知る。		1
	・Unit 1 Giving Directions and Helping ・海外交流：Flipgrid を用いてロズウェル高校の生徒に自己紹介動画を送り、コミュニケーションをとる。	・道案内で使える英語表現を修得する。 ・日本語や英語の表現に気をつけながら、工夫した動画を送ることができる。 ・動画の返信を通して、ロズウェル高校の生徒と積極的にコミュニケーションをとることができる。	・教科書提出 ・動画提出 ・コメント確認	2
5月				
	・Unit 2 Talking about Yourself ・海外交流：Flipgrid を用いてロズウェル高校の生徒に日本文化を紹介する動画を送り、コミュニケーションをとる。①	・自己紹介で使える英語表現を修得する。 ・日本語や英語の表現に気をつけながら、工夫した動画を送ることができる。 ・動画の返信を通して、ロズウェル高校の生徒と積極的にコミュニケーションをとることができる。	・教科書提出 ・動画提出 ・コメント確認	1
	・Unit 3 Host Family ・海外交流：Flipgrid を用いてロズウェル高校の生徒に日本文化を紹介する動画を送り、コミュニケーションをとる。②	・留学生などを迎えるときに使える英語表現を修得する。 ・日本語や英語の表現に気をつけながら、工夫した動画を送ることができる。 ・動画の返信を通して、ロズウェル高校の生徒と積極的にコミュニケーションをとることができる。	・教科書提出 ・動画提出 ・コメント確認	1
6月				
	・Unit 4 Commuting by Train ・海外交流：Flipgrid を用いてロズウェル高校の生徒と動画の返信を通して、コミュニケーションをとる。	・電車の乗り換え説明に使える英語表現を修得する。 ・日本語や英語の表現に気をつけながら、工夫した動画を送ることができる。 ・動画の返信を通して、ロズウェル高校の生徒と積極的にコミュニケーションをとることができる。	・教科書提出 ・動画提出 ・コメント確認	1
	校外学習（江戸風鈴作り） 日本の伝統文化を実際に体験する。	・実際に伝統文化を体験し、自国の伝統文化についての理解を深める。 ・地元の伝統工芸や伝統について理解を深める。	生徒の様子を観察	1
	・Unit 5 Taking Classes ・海外交流：Flipgrid を用いてロズウェル高校の生徒と動画の返信を通して、コミュニケーションをとる。	・物事の描写に使える英語表現を修得する。 ・日本語や英語の表現に気をつけながら、工夫した動画を送ることができる。 ・動画の返信を通して、ロズウェル高校の生徒と積極的にコミュニケーションをとることができる。	・教科書提出 ・動画提出 ・コメント確認	1
	日本文化紹介レポート 1学期のまとめとして、海外に紹介したい日本文化をレポートにまとめる。	・日本文化について知見を深め、外国人にも紹介できるようになる。	レポート提出	1
7月				

	指導内容	異文化理解の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
8月				
9月				
	・Unit 6 Talking with a Teacher ・海外交流：Flipgrid を用いてロズウェル高校の生徒に自己紹介動画を送り、コミュニケーションをとる。	・褒めるときに使える英語表現を修得する。 ・日本語や英語の表現に気をつけながら、工夫した動画を送ることができる。 ・動画の返信を通して、ロズウェル高校の生徒と積極的にコミュニケーションをとることができる。	・教科書提出 ・動画提出 ・コメント確認	1
	・Unit 7 Finding Friends ・海外交流：Flipgrid を用いてロズウェル高校の生徒に自分の学校を紹介する動画を送り、コミュニケーションをとる。①	・自分の趣味や好みを伝えるときに使える英語表現を修得する。 ・日本語や英語の表現に気をつけながら、工夫した動画を送ることができる。 ・動画の返信を通して、ロズウェル高校の生徒と積極的にコミュニケーションをとることができる。	・教科書提出 ・動画提出 ・コメント確認	1
	・Unit 8 Potluck ・海外交流：Flipgrid を用いてロズウェル高校の生徒に自己紹介動画を送り、コミュニケーションをとる。②	・パーティなどの集まりで使える英語表現を修得する。 ・日本語や英語の表現に気をつけながら、工夫した動画を送ることができる。 ・動画の返信を通して、ロズウェル高校の生徒と積極的にコミュニケーションをとることができる。	・教科書提出 ・動画提出 ・コメント確認	1
10月	・Unit 9 Sumo ・海外交流：Flipgrid を用いてロズウェル高校の生徒に自分が好きなものを送り、コミュニケーションをとる。①	・物事の描写に使える英語表現を修得する。 ・日本語や英語の表現に気をつけながら、工夫した動画を送ることができる。 ・動画の返信を通して、ロズウェル高校の生徒と積極的にコミュニケーションをとることができる。	・教科書提出 ・動画提出 ・コメント確認	1
	・Unit 10 Four seasons ・海外交流：Flipgrid を用いてロズウェル高校の生徒に自分が好きなものを送り、コミュニケーションをとる。②	・好きな季節の説明に使える英語表現を修得する。 ・日本語や英語の表現に気をつけながら、工夫した動画を送ることができる。 ・動画の返信を通して、ロズウェル高校の生徒と積極的にコミュニケーションをとることができる。	・教科書提出 ・動画提出 ・コメント確認	1
	・Unit 11 Green Tea ・海外交流：Flipgrid を用いてロズウェル高校の生徒にお互いの国の第一印象を送り、コミュニケーションをとる。① ・ホリデーギフトと手紙を郵送する。	・物事の描写に使える英語表現を修得する。 ・日本語や英語の表現に気をつけながら、工夫した動画を送ることができる。 ・動画の返信を通して、ロズウェル高校の生徒と積極的にコミュニケーションをとることができる。	・教科書提出 ・動画提出 ・コメント確認	1
11月	・Unit 12 Japanese Food ・海外交流：Flipgrid を用いてロズウェル高校の生徒にお互いの国の第一印象についてディスカッションする。①	・料理の説明に使える英語表現を修得する。 ・日本語や英語の表現に気をつけながら、工夫した動画を送ることができる。 ・動画の返信を通して、ロズウェル高校の生徒と積極的にコミュニケーションをとることができる。	・教科書提出 ・動画提出 ・コメント確認	1
	・Unit 13 Part-Time Jobs ・海外交流：Flipgrid を用いてロズウェル高校の生徒にお互いの国の第一印象についてディスカッションする。②	・アルバイト先で使える英語表現を修得する。 ・日本語や英語の表現に気をつけながら、工夫した動画を送ることができる。 ・動画の返信を通して、ロズウェル高校の生徒と積極的にコミュニケーションをとることができる。	・教科書提出 ・動画提出 ・コメント確認	1
	・Unit 14 Shopping at a clothing Shop ・海外交流：ホリデーギフトのお礼の手紙を書く。①	・買い物で使える英語表現を修得する。 ・日本語や英語の表現に気をつけながら、工夫した手紙を送ることができる。 ・動画の返信を通して、ロズウェル高校の生徒と積極的にコミュニケーションをとることができる。	・教科書提出 ・動画提出 ・コメント確認	1
	・Unit 15 Asakusa ・海外交流：ホリデーギフトのお礼の手紙を書く。②	・おすすめの場所を紹介する英語表現を修得する。 ・日本語や英語の表現に気をつけながら、工夫した手紙を送ることができる。 ・動画の返信を通して、ロズウェル高校の生徒と積極的にコミュニケーションをとることができる。	・教科書提出 ・動画提出 ・コメント確認	1
	・日本／アメリカの第一印象→どんな第一印象を持っているのか、それがポジティブ／ネガティブな印象か考えさせる。その後、なぜそういった印象を持っているのか理由を考え、レポートにて発表する。	・それぞれの国の文化の偏見や固定された印象について考え、自分の考えを発表する。	・レポート提出	1

	指導内容	異文化理解の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配 当 時 数
12月	浅草に行き、外国人観光客とコミュニケーションをとる。	・今まで学んだ表現を使いながら、積極的にコミュニケーションをとる。	・ワークシートの提出	1
1月				1
	・Joy Reader Unit 1,2 ・国際化社会の中、偏見を持たずにお互いの価値観の違いに気づいて認め合うためにどんなことに気をつけたらいいかを考え、グループで発表する。	・基礎的な読解力をつける。 ・日本語や英語の表現に気をつけながら、工夫した手紙を送ることができる。 ・動画の返信を通して、ロズウェル高校の生徒と積極的にコミュニケーションをとることができる。	・教科書提出 ・動画提出 ・コメント確認	
	・Joy Reader Unit 3,4 ・ロズウェル高校にむけて、お別れメッセージを投稿する。	・基礎的な読解力をつける。 ・日本語や英語の表現に気をつけながら、工夫した動画を送ることができる。 ・動画の返信を通して、ロズウェル高校の生徒と積極的にコミュニケーションをとることができる。	・教科書提出 ・動画提出 ・コメント確認	1
2月				
3月				

年間授業計画様式例

東京都立篠崎高等学校 令和5年度 教科家庭 科目フードデザイン 年間授業計画

教 科： 家庭 科 目： フードデザイン 単位数： 2単位

対象学年組： 第3学年（1組～7組選択者）

教科担当者： 石井

使用教科書：（ フードデザイン 実教出版 ）

使用教材：（ イラスト 調理BOOK ―基本・応用・理論― 実教出版 ）

	指導内容	科目フードデザインの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4 月	第1章 食生活と健康 [1] 食事の意義と役割 [2] 食をとりまく現状	① 食事の役割を知る ② 食生活の文化の成り立ちを知り、その変化の過程と現代の食生活との関係を知る ③ 現代の食生活の問題点について、生徒各自の食生活を点検し、問題点を把握して自らの食生活を改善する方法を考える	○ 食生活の文化に関心を持ち、人間と食べ物との関わりについて考えようとしている。（ワークシート・発表）	2
	第2章 栄養素のはたらきと食事計画 [1] からだのしくみと食べ物 [2] 炭水化物 [3] 脂質 [4] たんぱく質 [5] ビタミン [6] ミネラル [7] 水・その他の物質	① 健康な食生活を送るには、どのような栄養素をどれくらい摂ればよいのかを知る ② 食品の栄養的特質と調理性を理解し、食生活にいかせるようにする ③ 各栄養素の種類と働きを理解し、食品を組み合わせる大切さを考える ④ 各食品の特質やそれを生かした加工食品について知り、調理に生かせる力を養う	○ 家族や自分の食生活について、栄養や健康と関わらせて考えようとしている。（ワークシート・発表） ○ 栄養素の種類と働き、栄養素等摂取の基準や食品群別摂取量の目安を理解している。（ワークシート）	2
	第4章 調理の基本 [1] 調理とおいしさ [2] 調理操作 [3] 調味操作	① 調理の種類と特徴について理解する ② 調理を科学的に理解する態度を養い、食品の特質をいかして美味しく調理できる技術を身につける ③ 配膳や食事のマナーについて理解する	○ 調理方法について理解を深め、意欲的に調理に取り組もうという姿勢を持つ。（ワークシート・発表） ○ うまみ成分等を科学的に理解し、食品の特質を生かした調理法についても理解を深める。（ワークシート）	2

	指導内容	科目フードデザインの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
5 月	【調理実習①】 (1) 淡色野菜の調理的性質を理解する 〈ビタミン〉 (2) 淡色野菜を使った料理	①調理の種類と特徴について理解する ②調理を科学的に理解する態度を養い、食品の特質をいかして美味しく調理できる技術を身につける ③配膳や食事のマナーについて理解する ④淡色野菜の特徴を把握し、調理特性を生かして美味しくつくることができる	○調理実習に意欲的に取り組んでいる。(実習) ○調理の手順(材料購入・調理操作・盛りつけ・食事・後片づけ)について理解している。(実習)	2
	【調理実習②】 (1) 肉類の調理的性質を理解する 〈脂質〉 (2) 肉類を使った料理	①調理の種類と特徴について理解する ②調理を科学的に理解する態度を養い、食品の特質をいかして美味しく調理できる技術を身につける ③配膳や食事のマナーについて理解する	○調理実習に意欲的に取り組んでいる。(実習) ○調理の手順(材料購入・調理操作・盛りつけ・食事・後片づけ)について理解している。(実習)	2
	【調理実習③】 (1) 芋類の調理的性質を理解する (2) 芋類を使った料理	①調理の種類と特徴について理解する ②調理を科学的に理解する態度を養い、食品の特質をいかして美味しく調理できる技術を身につける ③配膳や食事のマナーについて理解する ④卵・乳製品の特徴を把握し、調理特性を生かして美味しくつくることができる	○調理実習に意欲的に取り組んでいる。(実習) ○調理の手順(材料購入・調理操作・盛りつけ・食事・後片づけ)について理解している。(実習) ○調理の基本的な技術を身につけ、専門的な技術の習得に努めている。(実習)	2

	指導内容	科目フードデザインの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
6 月	【調理実習④・⑤】 (1) 卵・乳製品の調理的性質を理解する 〈たんぱく質・無機質〉 (2) 卵・乳製品を使った料理	①調理の種類と特徴について理解する ②調理を科学的に理解する態度を養い，食品の特質をいかして美味しく調理できる技術を身につける ③配膳や食事のマナーについて理解する ④卵・乳製品の特徴を把握し，調理特性を生かして美味しくつくることができる	①調理の種類と特徴について理解する。 ②調理を科学的に理解する態度を養い，食品の特質をいかして美味しく調理できる技術を身につける。 ③配膳や食事のマナーについて理解する。 ④卵・乳製品の特徴を把握し，調理特性を生かして美味しくつくることができる。	2

		指導内容	科目フードデザインの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
7 月		1 学期に学習した内容のまとめ		【期末考査】 【実技テスト】食物検定 4 級 程度の実技内容 【解説】	2

		指導内容	科目フードデザインの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
8 月					

	指導内容	科目フードデザインの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
9月	【調理実習⑥・⑦】 (1) 穀類の調理的性質を理解する 〈炭水化物〉 (2) 穀類を使った料理	①調理の種類と特徴について理解する ②調理を科学的に理解する態度を養い、食品の特質をいかして美味しく調理できる技術を身につける ③配膳や食事のマナーについて理解する ④穀類の特徴を把握し、調理特性を生かして美味しくつくることができる	○調理実習に意欲的に取り組んでいる。(実習) ○調理の手順(材料購入・調理操作・盛りつけ・食事・後片づけ)について理解している。(実習) ○調理の基本的な技術を身につけ、専門的な技術の習得に努めている。(実習)	2
	第5章 料理様式とテーブルコーディネート 1節 調理様式と献立 [1] 日本料理の様式と献立 [2] 西洋料理の様式と献立 【調理実習⑧・⑨】	①日本料理、西洋料理等それぞれの様式に応じた食卓構成と作法について理解させる	○日本料理、西洋料理など代表的な料理様式について、それぞれの特徴に関心を持とうとしている。(ワークシート・実習) ○季節や行事、食事の目的などに応じて食卓を演出しようとする意欲・関心が感じられる。(ワークシート・実習)	2

	指導内容	科目フードデザインの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
10 10 月	第5章 料理様式とテーブルコーディネート 1節 調理様式と献立 [3]中国料理の様式と献立 【調理実習⑩】	①中国料理の様式に応じた食卓構成と作法について理解させる	○中国料理など代表的な料理様式について、それぞれの特徴に関心を持とうとしている。(ワークシート・実習) ○季節や行事、食事の目的などに応じて食卓を演出しようとする意欲・関心が感じられる。(ワークシート・実習)	2
	2節 テーブルコーディネート [1]テーブルコーディネートとは [2]テーブルコーディネートのポイント [3]和風のテーブルコーディネート [4]洋風のテーブルコーディネート [5]中国風のテーブルコーディネート [6]室内のコーディネート	①日本料理の献立の違いを知り、手順やサービス、マナーについて理解させる ②西洋料理の形式による違いを知り、手順やサービス、マナーについて理解させる ③地域によって異なる中国料理の特徴を知り、サービスやマナーについて理解させる ④和風・洋風・中国風ごとのテーブルコーディネートの特徴を知り、状況に応じたコーディネートについて考えさせたり、実際にコーディネートを実践させる ⑤コーディネートに必要な小物を製作させる。	○様式別の食卓構成や食卓作法、供応に伴うマナーを身につけることができる。(ワークシート) ○食器・盛りつけ・テーブルクロス・照明などについて適切な取り扱いができる。(ワークシート) ○目的に応じたテーブルコーディネートができる。(ワークシート)	2

	指導内容	科目フードデザインの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
11 月	第6章 フードデザイン実習 [1] 日常食の献立を考える際の留意点 [2] 日常食の献立作成 [3] 供応食・行事食 [4] テーマ設定と調理実習 【調理実習⑪・⑫】	①栄養バランス，年齢，性，目的を考慮した食事の献立について，要点が理解でき，日常食，行事食など用途に適した献立が作成できる ②これまで身につけた知識を調理にいかし，手際よくつくることができるようにする ③基礎的な題材から始めて，品数を増やしたり，工程が多いものに移行していくなど，段階的に調理技術の向上をはからせる	○食事のテーマにふさわしい献立や食卓の整え方，周囲の環境づくりを行おうとする意欲・関心が感じられる。（ワークシート） ○具体的な食事テーマを設定し，その目的に応じた献立を考えることができる。（ワークシート） ○食事のテーマに応じた献立作成，食品材料の選択と調理など，一連の流れを計画し実践ができる。（ワークシート） ○調理実習に意欲的に取り組んでいる。（実習）	2

		指導内容	科目フードデザインの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
12 月		2学期に学習したことのまとめ		【期末考査】 【実技テスト】 【答案返却】	2

	指導内容	科目フードデザインの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
1 月	【調理実習⑬・⑭】 (1) 行事食（正月料理）（和風） (2) 行事食（ブッフェパーティー）	①調理の種類と特徴について理解する ②調理を科学的に理解する態度を養い，食品の特質をいかして美味しく調理できる技術を身につける ③配膳や食事のマナーについて理解する ④食品の特徴を把握し，調理特性を生かして美味しくつくることができる ⑤行事食として，行事にふさわしいもてなしとは何かを考え，調理や準備の工夫をする	○調理実習に意欲的に取り組んでいる。（実習） ○調理の手順（材料購入・調理操作・盛りつけ・食事・後片づけ）について理解している。（実習） ○調理の基本的な技術を身につけ，専門的な技術の習得に努めている。（実習） ○配膳や食事のマナーについて理解し，工夫することができる。（実習）	2

		指導内容	科目フードデザインの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
2 月					

		指導内容	科目フードデザインの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
3 月					

東京都立篠崎高等学校 令和5年度 教科 数学 科目 自選看護医療数学 年間授業計画

教科 数学 科目 看護医療数学 単位数 2単位
対象学年組 第3学年自選選択者
教科担当者 (生天目 敦貴)
使用教科書 (東京書籍 数学I Standard)
使用教材 (文英堂 看護医療系の数学I+A)

	指導内容	看護医療数学の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4月	○数と式 ・公式のよる展開 ・因数分解 ・おきかえによる因数分解 ・無理数 ・絶対値 ○2次関数 ・2次関数のグラフと移動 ・2次関数の最大・最小	二次の乗法公式及び因数分解の公式の理解を深め、式を多面的にみたり目的に応じて式を適切に変形することができるようにする。 実数について、平方根や絶対値を文字式で扱えるようにする。 2次関数のグラフの特徴を理解する。 2次関数の値の変化について、グラフを用いて考察したり最大値や最小値を求めることができるようにする。	数学Iは1学年で学習した既習科目であるので、問題演習を基本とした授業を行う。指名して解答を板書させ、評価する。	8

	指導内容	看護医療数学の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
5 月				
	中間考査		1 学期前半の内容理解度を考査で評価する。	1
	○ 2 次関数 ・ 2 次関数の決定と 3 元連立方程式 ・ 2 次方程式 ・ 2 次方程式と判別式 ・ 2 次関数のグラフと判別式 ・ 1 次不等式 ・ 連立不等式	2 次方程式の解と 2 次関数のグラフとの関係を理解する。 不等式の解の意味や不等式の性質について理解し、1 次不等式の解を求めたり 1 次不等式を事象の考察に活用できるようにする。	数学 I は 1 学年で学習した既習科目であるので、問題演習を基本とした授業を行う。指名して解答を板書させ、評価する。	8

	指導内容	看護医療数学の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
6 月				

		指導内容	看護医療数学の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
7 月					
		期末考査		1 学期後半の内容理解度を考 査で評価する。	1

		指導内容	看護医療数学の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
8 月					

	指導内容	看護医療数学の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
9 月	○図形と計量 ・三角比の定義 ・三角比の相互関係 ・正弦定理 ・余弦定理 ・三角形の面積	三角比の基本について確認し、三角比の代表的な性質を用いて考察できるようにする。 自然数、整数、有理数、実数の性質を理解し、集合の考えを用いて数を整理・分類して考察できるようにする。	数学Ⅰは1学年で学習した既習科目であるので、問題演習を基本とした授業を行う。指名して解答を板書させ、評価する。	8

		指導内容	看護医療数学の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
10 月					
		中間考査		2 学期前半の内容理解度を考査で評価する。	1
		○集合と論理 ・集合と集合の要素 ・必要条件と十分条件	自然数、整数、有理数、実数の性質を理解し、集合の考えを用いて数を整理・分類して考察できるようにする。 論理記号とその意味、命題と命題の扱いについて知り、集合の考えを用いながら対象を整理して論理的に考え、説明をできるようにする。	数学Ⅰは1 学年で学習した既習科目であるので、問題演習を基本とした授業を行う。指名して解答を板書させ、評価する。	10

11月	指導内容	看護医療数学の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数

		指導内容	看護医療数学の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
12 月					
		期末考査		2学期後半の内容理解度を考査で評価する。	1

		指導内容	看護医療数学の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
1 月		○データの分析 ・データの整理と分析 ・箱ひげ図 ・データの相関	データを整理する基本的な方法と、データを分析する際の基本的な考え方を理解し、自ら整理と分析を行えるようにする。	数学Ⅰは1学年で学習した既習科目であるので、問題演習を基本とした授業を行う。指名して解答を板書させ、評価する。	4
		学年末考査		3学期の内容理解度を考査で評価する。	1

		指導内容	看護医療数学の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
2 月					

		指導内容	看護医療数学の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
3 月					

年間授業計画様式例

東京都立篠崎高等学校 令和5年度 教科家庭 科目子どもの発達と保育 年間授業計画

教 科： 家庭 科 目： 発達と保育 単位数： 2単位

対象学年組： 第3学年（1組～7組選択者）

教科担当者： 奥平

使用教科書：（『子どもの発達と保育 育つ・育てる・育ち合う』 教育図書 ）

使用教材：（ ）

	指導内容	科目〇〇の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4 月	保育の必要性と意義 保育とは 人間形成と保育	・現在の保育をめぐる問題を取り上げ、高校生として保育を学ぶ意義を理解する。 ・保育の目標は、適切に保護しながら教育的に関わることであり、子ども自身の成長・発達を援助、擁護することであると理解する。	新聞や保育誌等から現在の保育の問題を理解できたか、積極的に考えることができたか （グループディスカッション・発表・ワークシート）	4

	指導内容	科目〇〇の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
5 月	保育者の役割 保育者の役割とは 指導のポイント	・保育者は乳幼児の発達過程を見通し、活動の場面や個々の乳幼児に応じてさまざまな役割があることを理解する。	実際の保育記録から保育者の役割をまとめ、理解することができたか（ロールプレイ・発表）	2
	子ども体験	・子どもがどのように身の回りを見ているかを実際に体験させ、目線を合わせること・子どもの気持ちや行動を理解すること・子どもの安全を考えて行動することを実習の目的とする。	チャイルドヴィジョンを工夫して製作することができたか（作品） 安全を確保しながら主体的に実習することができたか（子ども体験）	2
	家庭保育と集団保育	・保育の場としての家庭保育と集団保育があることを知り、それぞれの特徴や役割を学び、子どもの成長発達に両方が必要であることを理解する。 ・幼稚園と保育所・その他の施設との違いを学び、集団保育の課題について理解する。	家庭保育と集団保育の特徴をまとめることができたか（ワークシート） 集団保育の課題について主体的に考えることができたか（グループディスカッション・ワークシート）	2

	指導内容	科目〇〇の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
6 月	児童観の変遷 児童観とは これまでの児童観	・児童観は、学問の進展や時代背景により変化していることを学ぶ。 ・長い歴史を経て、子どもが個人として尊重されるようになったことを理解する。 ・子どもの権利について理解する。	子どもがどのような存在としてとらえられてきたか、今後どのように大切な存在として考えていかなければならないかを考えることができたか（発表）	4
	児童福祉 児童福祉の意義 児童福祉に関する法律 児童福祉のための機関・施設	・児童福祉の理念や法律と生徒について学び、保護者を必要とするのみならず、時代を担う児童の健全育成を目標としていることを理解する。 ・児童相談所や保育所などの児童福祉機関や施設の種類と目的を学び、児童と家庭に対する社会的援助を理解する。	理念や法律について理解を深めることができたか（ワークシート） 子どもにとって幸せとは何か、具体的に考える（発表・グループディスカッション）	2
	児童家庭福祉 社会的支援の必要性 子育て家族への支援 少子化対策と子育て支援	・児童を取り巻く環境の変化に対応して子育て家族に対する社会的支援を充実させる必要があることを理解する。 ・子育て支援の現状を知り、子育ての社会的支援の課題と展望を考える。	自分の住む地域の支援体制を調査し、今後どのような支援が必要かを考える（ワークシート）【期末考査】	2

		指導内容	科目〇〇の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
7 月					

		指導内容	科目〇〇の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
8 月					

	指導内容	科目〇〇の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
9 月	人間発達の中の乳幼児期 子どもの成長とその条件 乳幼児期の特徴	・人間の発達に関心を持ち、乳幼児期が人間の発達の基礎を培う時期であることを理解する。 ・乳幼児期は、親を中心とした身近な人との関わりによって心が安定し、考え方・感じ方・行動の仕方などが発達していくことを理解する。	乳幼児の観察や視聴覚教材を通して、乳幼児の持つ可能性を認識し、学習を深めることができたか（ワークシート・発表）	4
	発達観と保育 発達観の変遷 保育に必要な発達観	・歴史的な経過を踏まえながら、現代における発達観を理解する。 ・子どもを「人」として育てるために必要な援助について考える。	発達観を理解し、保育に必要な視点考え方を身につけることができたか（ワークシート）	2

	指導内容	科目〇〇の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
10月	子どもの生活 生活 健康管理 養護 栄養と食事	・乳幼児の生活の特徴を学び、健康を保持増進し、順調な成長を促す上で、発育発達に応じた養護が必要なことを理解する。 ・乳幼児の食生活が発育や発達に及ぼす影響が大きいことを学習し、母乳栄養や離乳食の重要性を理解する。	生活の特徴・食生活について、実験や実習を通して理解を深めることができたか（調乳実習・離乳食実習・幼児食実習）	4
	生活習慣の形成 生活習慣の意義 基本的な生活習慣	・生活習慣形成の意義と重要性を理解し、乳幼児の個人差に配慮することを学ぶ ・基本的な生活習慣を身につけるためには、保育環境の工夫が必要なことを学ぶ。 ・社会的な生活習慣は、社会のルールや人との関わりの中で身につけていくことを理解する。	発達段階に応じた生活習慣について、演技実習を通して学習を深めることができたか（演技実習・ワークシート・事例研究）	2

	指導内容	科目〇〇の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
月 11	子どもの生活 生活 健康管理 養護 栄養と食事	・乳幼児の生活の特徴を学び、健康を保持増進し、順調な成長を促す上で、発育発達に応じた養護が必要なことを理解する。 ・乳幼児の食生活が発育や発達に及ぼす影響が大きいことを学習し、母乳栄養や離乳食の重要性を理解する。	生活の特徴・食生活について、実験や実習を通して理解を深めることができたか（調乳実習・離乳食実習・幼児食実習）	2
	指導の原理 乳幼児にふさわしい生活の展開 遊びをいかしていく保育 環境をととのえる保育 一人ひとりに応じる保育	・心身の発達に応じた指導方法や子どもの心をひきつける環境作りなどを学習し、具体的な保育の原理を学ぶ。 ・乳幼児は遊びを通して発育・発達することを理解し、保育者が発達に合わせて遊びを働きかけることを学ぶ。 ・集団においても、乳幼児一人ひとりを理解し、自己が発揮できる指導が重要であることを理解する。	手あそび、読み書き、運動遊びなど実際に活動して子どもの発達段階に応じた遊びの内容を理解・紹介することができたか（実習） 子どもの成長に合った児童文化財や道具を製作することができたか（製作）	6

	指導内容	科目〇〇の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
12 月	乳幼児の発達 発達の特徴 精神発達	・精神発達の特徴を学び、乳幼児期が人格形成上重要な時期であることを理解する。 ・精神発達のためには、保育者の働きかけと意欲を高める環境作りが大切であることを理解する。	精神発達の特長について理解を深め、保育者としての姿勢について考えることができたか（ワークシート）	1
			【期末考査】	1

	指導内容	科目〇〇の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
1 月	人間関係の発達 親子関係と子どもの発達 人間関係のひろがり	・乳幼児期は基本的人間関係の樹立のために愛着が重要であることを、泣く・笑うなどを通して理解する。 ・大人や友達など、多くの人との関わりによって人として自立していくことを理解する。	愛着関係の形成のためにどのような保育態度がよいか、グループで検討し、発表する（グループディスカッション・発表）	2
	発達の個別性と保育 発達の個別性と影響要因 心の健康と保育 問題行動	・発達における方向性や順序性などには共通性があるが、時期や形、強さなどには個別的な特徴を持っていることを理解する。 ・反抗期と自我について考える。 ・子どもの問題行動と養育環境との関わりについて理解する。	事例研究やロールプレイを通して、発達の個別性と特徴を理解することができたか、子どもの問題行動について理解を深めることができたか（事例研究・ロールプレイ・グループディスカッション）	2

		指導内容	科目〇〇の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
2 月				【学年末考査】	1

		指導内容	科目〇〇の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
3 月					

東京都立篠崎高等学校 令和5年度 教科 数学 科目 数学Ⅰ（自選数学Ⅰ基礎）年間授業計画

教 科： 数学 科 目： 数学 I（自選 数学 I 基礎） 單位數： 2 單位

対象学年組： 第3学年自選選択者

教科担当者：（村田 俊一）

使用教科書：（東京書籍 新編 数学Ⅰ）

使用教材：（浜島書店 新編 実用数学セミナー）

	指導内容	科目 数学Ⅰ（自選 数学Ⅰ基礎）の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4 月	①数の計算（１）	義務教育段階の計算を復習する。 分数の計算、正負の計算、指数の計算を復習する。	学習活動への取り組み，課題提出の状況，定期考査を総合して評価をする。	6
	②数の計算（２）	義務教育段階の計算を復習する。 虫食算の計算、繁分数の計算を復習する。		

	指導内容	科目 数学 I（自選 数学 I 基礎）の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
5 月	③割合 ④整式の計算 ⑤乗法公式 ⑥因数分解	義務教育段階の計算を復習する。 小数、分数、割合を復習する。 乗法公式と関連させて、因数分解の公式を利用することができる。また、式を工夫する基本的な方法を身につけ、能率よく因数分解することができる。	学習活動への取り組み，課題提出の状況，定期考査を総合して評価をする。	6

	指導内容	科目 数学 I（自選 数学 I 基礎）の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
6 月	⑦整式の割り算， 分数式の計算 ⑧無理数の計算 ⑨ 1 次方程式 ⑩ 2 次方程式	数を拡張することに興味をもち自然数，整数，有理数，無理数，実数の意味を 理解する。また，絶対値の定義をもとに，絶対値記号を含む式の計算ができ る。 根号を含む式の計算ができる。また，分母の有理化について理解し，基本的な 計算ができる。 因数分解による解法や解の公式を用いて， 2 次方程式の解を求めることができる。	学習活動への取り組み，課題 提出の状況，定期考査を総合 して評価をする。	8

		指導内容	科目 数学 I（自選 数学 I 基礎）の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
7 月					

		指導内容	科目 数学 I（自選 数学 I 基礎）の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
8 月					

	指導内容	科目 数学 I（自選 数学 I 基礎）の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
9 月	⑪連立方程式（1） ⑫連立方程式（2）	連立方程式の解と連立方程式を解くことの意味を理解する。また，連立方程式を解くことができる。	学習活動への取り組み，課題提出の状況，定期考査を総合して評価をする。	8

	指導内容	科目 数学 I（自選 数学 I 基礎）の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
10 月	⑬不等式 ⑭連立不等式	不等式の意味を理解し、数量の間の大小関係を不等式で表すことができる。また、不等式の基本性質を理解する。 不等式の性質をもとに、不等式の解と不等式を解くことの意味を理解する。また、1次不等式を解くことができる。 連立1次不等式を解くことができる。2次不等式を含む連立不等式を解くことができる。	学習活動への取り組み，課題提出の状況，定期考査を総合して評価をする。	6

	指導内容	科目 数学 I（自選 数学 I 基礎）の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
11 月	⑮応用問題（１） ⑯応用問題（２）	余弦定理を理解し，三角形の辺と角の間の関係について理解を深める。また，既知の辺や角から残りの辺や角を求めることができる。 条件に応じて正弦定理や余弦定理を活用し，三角形の面積を求めることができる。	学習活動への取り組み，課題提出の状況，定期考査を総合して評価をする。	6

	指導内容	科目 数学 I（自選 数学 I 基礎）の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
12 月	⑰ 2 次関数のグラフ ⑱ 2 次関数の最大・最小とその利用 ⑲ 図形と計量 （三角比）	中学校で学んだ 2 乗に比例する関数の性質を復習し，それをもとに 2 次関数について理解する。また，2 次関数 $y=ax^2+bx+c$ を $y=a(x-p)^2+q$ の形に変形し，そのグラフを利用できる。 三角比を用いて，直角三角形のある辺の長さから他の 1 辺の長さを求めたり，三角比を具体的な問題の解決に活用したりすることができる。	学習活動への取り組み，課題提出の状況，定期考査を総合して評価をする。	4

指導内容		科目 数学 I（自選 数学 I 基礎）の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
1 月	⑭面積・体積	義務教育段階の計算を復習する。 扇形など様々な図形の面積や、円柱、円錐などの体積を計算する。	学習活動への取り組み，課題 提出の状況，定期考査を総合 して評価をする。	4

		指導内容	科目 数学 I（自選 数学 I 基礎）の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
2 月					

		指導内容	科目 数学 I（自選 数学 I 基礎）の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
3 月					

篠崎高等学校令和5年度 教科 地理歴史 科目 自由選択世界史B 年間授業計画

教 科： 地理歴史 科 目：世界史B 単位数： 2単位
対象学年組： 第3学年選択者）
教科担当者：両角
使用教科書：（帝国書院『新詳世界史B』）
使用教材：（浜島書店『ニューステージ 世界史詳覧』）

	指導内容	科目世界史Bの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4月	テーマ探究	関心のあるテーマを選出し、文献講読を行いながらレポートを作成する。	関心・意欲・態度 思考・判断 観察・ワークシート	2
5月	テーマ探究	関心のあるテーマを選出し、文献講読を行いながらレポートを作成する。	関心・意欲・態度 思考・判断 観察・ワークシート	4
6月	テーマ探究	関心のあるテーマを選出し、文献講読を行いながらレポートを作成する。	関心・意欲・態度 思考・判断 観察・ワークシート	6
7月	テーマ探究	関心のあるテーマを選出し、文献講読を行いながらレポートを作成する。	関心・意欲・態度 思考・判断 観察・ワークシート	4

	指導内容	科目世界史Bの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配 当 時 数
8 月				
9 月	テーマ探究に基づく論文の執筆	作成したレポートをもとに、関心のあるテーマに対する問立てを行い、先行研究を調査する。	関心・意欲・態度 思考・判断 観察・ワークシート	4
10 月	テーマ探究に基づく論文の執筆	先行研究の内容を精査し、基礎研究および中間発表資料を作成する。	関心・意欲・態度 思考・判断 観察・ワークシート	4
11 月	テーマ探究に基づく論文の執筆	諸資料を活用して論文を執筆する。	関心・意欲・態度 思考・判断 観察・ワークシート	6

	指導内容	科目世界史Bの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配 当 時 数
12 月	テーマ探究に基づく論文の執筆	諸資料を活用して論文を執筆する。	関心・意欲・態度 思考・判断 観察・ワークシート	6
1 月	テーマ探究に基づく論文の執筆	論文の研究発表資料の作成及び研究発表を行う。	関心・意欲・態度 思考・判断 観察・ワークシート	6
2 月				
3 月				

	指導内容	科目 素描基礎の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4月	オリエンテーション 単元 デッサンA 静物デッサン（ビン、リンゴ、ブロック、幾何形体/円錐）	年間の予定の周知 ・構図について ・ハッチングでの形体表現 ・トーン表現 ・明暗表現 ・空間表現 基本形体の見方・描き方について学ぶとともに、複数のモチーフを用いることで、モチーフ相互の関係を的確に表現できるようにする。	形体表現・明暗表現・空間表現の4観点を各A～Eで評価し、点数換算する。	1 5
5月	単元 デッサンA 静物デッサン（ビン、リンゴ、ブロック、幾何形体/円錐）	・構図について ・ハッチングでの形体表現 ・トーン表現 ・明暗表現 ・空間表現 基本形体の見方・描き方について学ぶとともに、複数のモチーフを用いることで、モチーフ相互の関係を的確に表現できるようにする。	形体表現・明暗表現・空間表現の3観点を各A～Eで評価し、点数換算する。	8
6月	単元 デッサンB 石膏デッサン（青年マルス）	・構図について ・ハッチングでの形体表現 ・明暗表現 ・空間表現 基本形体の見方・描き方について学ぶとともに、石膏像を用いることでプロポーションと動静、全体と部分の関係を的確に表現できるようにする。	形体表現・明暗表現・空間表現の3観点を各A～Eで評価し、点数換算する。	8
7月	単元 デッサンB 石膏デッサン（青年マルス）	・構図について ・ハッチングでの形体表現 ・明暗表現 ・空間表現 基本形体の見方・描き方について学ぶとともに、石膏像を用いることでプロポーションと動静、全体と部分の関係を的確に表現できるようにする。	形体表現・明暗表現・空間表現の3観点を各A～Eで評価し、点数換算する。	4

	指導内容	科目 素描基礎の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配 当 時 数
8 月				
9 月	単元 デッサン 静物デッサン 組 みデッサン（牛骨または鳥のはく製など）	牛骨、鳥のはく製などの複雑なモチーフを、一学期に学んだ基本を応用して表現できるようにする。	形体表現・明暗表現・質感表現の3観点を各A～Eで評価し、点数換算する。	8
10 月	単元 デッサン 静物デッサン 組 みデッサン（牛骨または鳥のはく製など）	牛骨、鳥のはく製などの複雑なモチーフを、一学期に学んだ基本を応用して表現できるようにする。	形体表現・明暗表現・質感表現の3観点を各A～Eで評価し、点数換算する。	4
	単元 デッサン 静物デッサン 組 みデッサン（金属製なべ、石膏など）	金属製なべなどの人工物の形や質感を的確に表現できるようにする。	形体表現・明暗表現・質感表現の3観点を各A～Eで評価し、点数換算する。	4
11 月	単元 デッサン 静物デッサン 組 みデッサン（金属製なべ、石膏など）	金属製なべなどの人工物の形や質感を的確に表現できるようにする。	形体表現・明暗表現・質感表現の3観点を各A～Eで評価し、点数換算する。	8

	指導内容	科目 素描基礎の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
12 月	単元 デッサン	美術系大学等への進学希望に対応し、個別指導を行う。	志望大学等の入試に必要な デッサン力について、個別 に評価する。	4
1 月	単元 デッサン	美術系大学等への進学希望に対応し、個別指導を行う。	志望大学等の入試に必要な デッサン力について、個別 に評価する。	6
2 月	単元 デッサン	美術系大学等への進学希望に対応し、個別指導を行う。	志望大学等の入試に必要な デッサン力について、個別 に評価する。	6
3 月	単元 デッサン	美術系大学等への進学希望に対応し、個別指導を行う。	志望大学等の入試に必要な デッサン力について、個別 に評価する。	4

年間授業計画様式例

東京都立篠崎高等学校 令和5年度 教科 地理歴史 科目 自由選択 地理B 年間授業計画

教 科： 地理歴史 科 目： 自由選択 地理B 単位数： 2単位
対象学年組： 第3学年
教科担当者： 川島
使用教科書：（帝国書院『新詳地理B』、帝国書院『新詳高等地図』）
使用教材：（東京法令出版『フォトグラフィア 地理図説』）

指導内容		科目 自由選択 地理B の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4 月	図法・時差	世界地図・一般図等の図法を理解する。 時差を理解する。	図法と時差を理解できたか。	2
	地形図・地図記号	地形図の種類と地図記号を理解する。	地形図と地図記号を理解できたか。	2

		指導内容	科目 自由選択 地理B の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
5 月		地形図・等高線・土地利用	等高線と地図記号を作業を通して理解する。	地形図の作業を通して等高線と土地利用を理解できたか。	2
		気候・ケッペンの気候区分	ケッペンの気候区分を復習し、各気候の特徴を理解する。	各気候の特徴を理解できたか。	2
		気候・雨温図・ハイサーグラフ	雨温図・ハイサーグラフを作成し、各気候を理解する。	雨温図とハイサーグラフを作成し、各気候の特徴を理解できたか。	2

	指導内容	科目 自由選択 地理B の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
6 月	気候・植生と土壌	植生と土壌の関係を各気候区と関連させて理解する。	植生と土壌の関係を理解できたか。	2
	日本の地形・気候・自然災害	日本の地形と気候を復習し、自然災害の特徴も理解する。	日本の自然災害の特徴を理解できたか。	2
	環境問題・地球温暖化・森林破壊	地球温暖化と森林破壊の現状を理解する。	地球温暖化と森林破壊の現状を理解できたか。	2
	環境問題・砂漠化・大気汚染	砂漠化と大気汚染の現状を理解する。	砂漠化と大気汚染の現状を理解できたか。	2

		指導内容	科目 自由選択 地理B の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
7 月					

		指導内容	科目 自由選択 地理B の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
8 月					

	指導内容	科目 自由選択 地理B の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
9 月	資源と産業・農林水産業・主要農産物	世界各地の農林水産業の特徴を理解する。	世界の農林水産業の特徴を理解できたか。	2
	資源と産業・食糧問題	食糧問題の現状を理解する。	食糧問題の現状を理解できたか。	2
	資源と産業・エネルギー資源	世界のエネルギー資源の特徴を理解する。	世界のエネルギー資源の特徴を理解できたか。	2

	指導内容	科目 自由選択 地理B の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
10 月	資源と産業・鉱産資源・主要鉱産物	世界の鉱産資源と主要鉱産物の現状を理解する。	世界の鉱産物の現状を理解できたか。	2
	資源と産業・工業の発達・世界の工業地帯	工業の発達と世界の工業地帯の現状を理解する。	工業発達の推移と工業地帯の現状を理解できたか。	2
	資源と産業・第3次産業・観光・交通網	第3次産業と観光業を世界の交通網と関連させて理解する。	第3次産業と観光業を交通網の発達と関連させて理解できたか。	2

	指導内容	科目 自由選択 地理B の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
11 月	資源と産業・貿易	世界の貿易の状況を理解する。	世界の貿易の状況を理解できたか。	2
	世界の人口・人口問題	世界の人口問題を理解する。	世界の人口問題の現状を理解できたか。	2
	村落と都市・集落の立地	集落の立地を具体例を通して理解する。	集落の立地を理解できたか。	2
	村落と都市・都市問題	世界の都市問題を理解する。	世界の都市問題の現状を理解できたか。	2

		指導内容	科目 自由選択 地理B の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
12 月		生活文化・世界の衣食住	世界の衣食住を具体例を通して理解する。	世界の衣食住を各地域ごとに理解できたか。	2

	指導内容	科目 自由選択 地理B の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
1 月	生活文化・食生活と宗教	食生活と宗教の関係を理解する。	宗教の食生活に関するタブーを 理解できたか。	2
	民族と宗教・民族・言語	世界の宗教と民族、言語を理解する。	宗教と民族、言語の関係を理 解できたか。	2
	現代世界の国家・民族宗教問題	世界の民族問題と宗教問題を理解する。	世界の民族・宗教問題の現状 を理解できたか。	2

		指導内容	科目 自由選択 地理B の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
2 月					

		指導内容	科目 自由選択 地理B の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
3 月					

年間授業計画様式例

篠崎高等学校令和5年度 教科芸術 科目音楽 年間授業計画

教 科：芸術 科 目：保育と音楽 単位数： 2単位
対象学年組： 第3学年1組～7組選択者
教科担当者：諫見のり子
使用教科書：無
使用教材： 個々の習熟度に応じたピアノ教則本（バイエルピアノ教則本、ブルグミュラー25の練習曲等） 歌唱プリント等

指導内容		科目〇〇の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4 月	【ガイダンス】 授業内ルールの確認	・授業の流れを理解させる。 ・評価の仕方を理解させる。。	・話をしっかりと聞いたか ・目視	1
	【器楽】【鑑賞】 ピアノの基礎知識 音階 歓喜の歌	・DVDを鑑賞することで、ピアノの基礎知識を理解させる。 ・指使いを理解させる。	・意欲的に取り組めたか ・評価シート	1
	【器楽】 ピアノの基礎知識 音階 歓喜の歌	・音階の指使いを理解させる。 ・必ず片手ずつを練習後、両手で演奏できるようにする。	・意欲的に取り組めたか ・評価シート	4

		指導内容	科目〇〇の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
5 月		【器楽】 個々の習熟度に応じたピアノ教則本	・音階の指使いを理解させる。 ・必ず片手ずつを練習後、両手で演奏できるようにする。	・意欲的に取り組めたか ・評価シート ・実技テスト	4
		【器楽】ボイスパーカッション	・音符、休符について理解させる。 ・友達と協力して一つの音楽を作り上げる。 ・強弱、速度等音楽表現を工夫して演奏する。	・意欲的に取り組めたか ・評価シート ・グループ発表	4

		指導内容	科目〇〇の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
6 月		【器楽】 個々の習熟度に応じたピアノ教則本	・指使いを正確に演奏させる。 ・必ず片手ずつを練習後、両手で演奏できるようにする。	・意欲的に取り組めたか ・評価シート ・個人レッスン	4
		【器楽】ボイスパーカッション	・音符、休符について理解させる。 ・友達と協力して一つの音楽を作り上げる。 ・強弱、速度等音楽表現を工夫して演奏する。	・意欲的に取り組めたか ・評価シート ・グループ発表	4

		指導内容	科目〇〇の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
7 月		【器楽】 個々の習熟度に応じたピアノ教則本	・指使いを正確に演奏させる。 ・必ず片手ずつを練習後、両手で演奏できるようにする。	・意欲的に取り組めたか ・評価シート ・個人レッスン	3
		【器楽】ボイスパーカッション	・音符、休符について理解させる。 ・友達と協力して一つの音楽を作り上げる。 ・強弱、速度等音楽表現を工夫して演奏する。	・意欲的に取り組めたか ・評価シート ・グループ発表	3

		指導内容	科目〇〇の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
8 月					

		指導内容	科目〇〇の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
9 月	【器楽】 個々の習熟度に応じたピアノ教則本		・指使いを正確に演奏させる。 ・必ず片手ずつを練習後、両手で演奏できるようにする。	・意欲的に取り組めたか ・評価シート ・個人レッスン	4
	【歌唱】 発声法 呼吸法 子供の歌		・呼吸法、発声法を確認させる。	・意欲的に取り組めたか ・評価シート ・目視	4

		指導内容	科目〇〇の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
10 月	【器楽】 個々の習熟度に応じたピアノ教則本		・指使いを正確に演奏させる。 ・必ず片手ずつを練習後、両手で演奏できるようにする。	・意欲的に取り組めたか ・評価シート ・個人レッスン	4
	【歌唱】 発声法 呼吸法 子供の歌		・呼吸法、発声法を確認させる。	・意欲的に取り組めたか ・評価シート ・目視	4

		指導内容	科目〇〇の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
11 月		【器楽】 個々の習熟度に応じたピアノ教則本	・指使いを正確に演奏させる。 ・必ず片手ずつを練習後、両手で演奏できるようにする。	・意欲的に取り組めたか ・評価シート ・個人レッスン	4
		【歌唱】 発声法 呼吸法 子供の歌	・呼吸法、発声法を確認させる。	・意欲的に取り組めたか ・評価シート ・目視	4

指導内容		科目〇〇の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
12 月	【器楽】 個々の習熟度に応じたピアノ教則本	・ 指使いを正確に演奏させる。 ・ 必ず片手ずつを練習後、両手で演奏できるようにする。	・ 意欲的に取り組めたか ・ 評価シート ・ 個人レッスン	2
	【器楽】 ミュージックベル クリスマスの音楽	・ 英語音名を理解させる。 ・ 友達と協力して一つの音楽を作り上げる。	・ 意欲的に取り組めたか ・ 評価シート ・ グループ発表	2

	指導内容	科目〇〇の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
1 月	【器楽】 個々の習熟度に応じたピアノ教則本	・指使いを正確に演奏させる。 ・必ず片手ずつを練習後、両手で演奏できるようにする。	・意欲的に取り組めたか ・評価シート ・個人レッスン	4
	【歌唱】 発声法 呼吸法 子供の歌	・呼吸法、発声法を確認させる。	・意欲的に取り組めたか ・評価シート ・目視	4

		指導内容	科目〇〇の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
2 月					

		指導内容	科目〇〇の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
3 月					

篠崎高等学校 令和5年度 教科 情報 科目 自由選択 社会と情報 年間授業計画

教科：情報 科目：社会と情報（自由選択） 単位数：2

対象学年組：3学年自由選択(金曜講座)

教科担当者：竹川 知孝

使用教科書：社会と情報(東京書籍 社情310)

	指導内容	「社会と情報」具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4月	オリエンテーション	CALL教室の利用についての説明		1
	4章 望ましい情報社会に向かう 23 データを加工しよう	マイクロソフトエクセル基礎① ・表およびグラフの作成 ・数式および基本的な関数の利用	・エクセルの基礎及び基本的な関数の活用ができているか（印刷物提出による）。	3
5月	4章 望ましい情報社会に向かう 23 データを加工しよう	マイクロソフトエクセル基礎② ・表およびグラフの作成 ・数式および基本的な関数の利用 ・より高度な関数の利用(IF・RANK・VLOOKUPなど)	・エクセルの基礎及び応用的な関数の活用ができているか（印刷物提出による）。	6
6月	4章 望ましい情報社会に向かう 23 データを加工しよう	マイクロソフトエクセル基礎② ・表およびグラフの作成 ・数式および基本的な関数の利用 ・より高度な関数の利用(IF・RANK・VLOOKUPなど)	・エクセルの基礎及び応用的な関数の活用ができているか（印刷物提出による）。	2
	4章 望ましい情報社会に向かう 23 データを加工しよう	マイクロソフトエクセル演習 エクセルの総合演習問題に取り組む	・エクセルの総合演習問題ができているか（印刷物提出による）。	4
7月	授業なし			0

	指導内容	「社会と情報」具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
8月	授業なし			0
9月	2章 ネットワークを探索する	実際にwebページを作成し、情報の発信の仕方について理解する。cssへのリンクを設定し、cssの意味を把握する。	・cssの作成及びhtmlファイルを作成し、cssへのリンクを設定できるか。（データ提出で確認）	6
10月	2章 ネットワークを探索する	実際にwebページを作成し、情報の発信の仕方について理解する。cssへのリンクを設定し、cssの意味を把握する。	・cssの作成及びhtmlファイルを作成し、cssへのリンクを設定できるか。（データ提出で確認）	6
11月	2章 ネットワークを探索する	実際にwebページを作成し、情報の発信の仕方について理解する。cssへのリンクを設定し、cssの意味を把握する。	・cssの作成及びhtmlファイルを作成し、cssへのリンクを設定できるか。（データ提出で確認）	6

	指導内容	「社会と情報」具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
12 月	2章 ネットワークを探索する	実際にwebページを作成し、情報の発信の仕方について理解する。cssへのリンクを設定し、cssの意味を把握する。	・cssの作成及びhtmlファイルを作成し、cssへのリンクを設定できるか。（データ提出で確認）	6
1 月	2章 ネットワークを探索する	実際にwebページを作成し、情報の発信の仕方について理解する。cssへのリンクを設定し、cssの意味を把握する。	・cssの作成及びhtmlファイルを作成し、cssへのリンクを設定できるか。（データ提出で確認）	4
2 月	授業なし	授業なし	授業なし	0
3 月	授業なし	授業なし	授業なし	0

篠崎高等学校 令和5年度 教科 情報 科目 自由選択 社会と情報 年間授業計画

教科：情報 科目：情報の表現と管理（自由選択） 単位数：2

対象学年組：3学年自由選択（火曜講座）

教科担当者：佐藤 万治

使用教科書：情報の表現と管理（実教出版 情報301）

		「社会と情報」具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4月	オリエンテーション	CALL教室の利用についての説明		1
	第2章 情報の表現 2 図解による表現	マイクロソフトエクセル基礎① ・表およびグラフの作成 ・数式および基本的な関数の利用	・エクセルの基礎及び基本的な関数の活用ができてるか（印刷物提出による）。	3
5月	第2章 情報の表現 2 図解による表現	マイクロソフトエクセル基礎② ・表およびグラフの作成 ・数式および基本的な関数の利用 ・より高度な関数の利用(IF・RANK・VLOOKUPなど)	・エクセルの基礎及び応用的な関数の活用ができてるか（印刷物提出による）。	6
6月	第2章 情報の表現 2 図解による表現	マイクロソフトエクセル基礎② ・表およびグラフの作成 ・数式および基本的な関数の利用 ・より高度な関数の利用(IF・RANK・VLOOKUPなど)	・エクセルの基礎及び応用的な関数の活用ができてるか（印刷物提出による）。	2
	4章 望ましい情報社会に向かう 23 データを加工しよう	マイクロソフトエクセル演習 エクセルの総合演習問題に取り組む	・エクセルの総合演習問題ができてるか（印刷物提出による）。	4
7月	授業なし			0

		「社会と情報」具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
8月	授業なし			0
9月	第2章 情報の表現 4 画像による表現	アドビイラストレーターの基礎 ・作図 ・色の変更 ・レイヤー ・図形の変形 ・図形の合成および分解 など	イラストレータの基礎スキルを修得しているか（データ提出で確認）	6
10月	第2章 情報の表現 4 画像による表現	アドビイラストレーターの基礎 ・作図 ・色の変更 ・レイヤー ・図形の変形 ・図形の合成および分解 など	イラストレータの基礎スキルを修得しているか（データ提出で確認）	2
	第2章 情報の表現 4 画像による表現	アドビイラストレーター演習① クリスマスカード作成	作品提出	4
11月	第2章 情報の表現 4 画像による表現	アドビイラストレーター演習① クリスマスカード作成	作品提出	6

		「社会と情報」具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
12月	第2章 情報の表現 4 画像による表現	アドビイラストレーター演習② 名刺作成	作品提出	6
1月	第2章 情報の表現 4 画像による表現	アドビイラストレーター演習② 名刺作成	作品提出	4
2月	授業なし	授業なし	授業なし	0
3月	授業なし	授業なし	授業なし	0

年間授業計画様式例

篠崎高等学校 令和5年度 教科 国語 科目 現代文B（自選・現代文演習） 年間授業計画

教科 国語 科目 現代文B 単位数 2単位

対象学年組 第3学年（自由選択選択者）

教科担当者 森田 幸子

使用教科書 （『現代文B』（第一学習社））

使用教材 （『新国語問題集アシスト22』（京都書房）、『論読評論文』（浜島書店）、『日本文学史必携』（第一学習社））

	指導内容	科目現代文Bの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4月	・授業ガイダンス ・問題演習 小林秀雄「ほんもの・にせもの展」 黒崎政男「哲学超入門」 ・問題演習 島 蘭 進「ともに悲嘆を生きる」 原研哉「大量発話時代と本の幸せについて」	文章の読解を通して物事の新しい見方を身に付ける。 文学的な文章について、人物、情景、心情を理解する。	毎時ワーク採点、記述問題の添削を行い、取り組み状況に応じて評価する。	6

	指導内容	科目現代文Bの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
5 月	・問題演習 小池昌代「黒雲の下で卵をあたためる」 港千尋「書物の変 - グーグルベルグの時代」 ・問題演習 夏目漱石「道草」 平山郁夫「絵と心」 ・日本文学史 中間考査 ・問題演習 小松理虔「新復興論」 隈研吾「新・建築入門」	論理的な文章の読解を通して、現代社会の問題についても広く学び、理解を深める。 現代文の土台となった明治時代初期の文学運動についての理解する。 ・初見の私大過去問題に取り組み、各自の読解力を把握する。 ・既習の文学史より出題し、定着を図る。 論理的な文章の読解を通して、現代社会の問題についても広く学び、理解を深める。	毎時ワーク採点、記述問題の添削を行い、取り組み状況に応じて評価する。加えて、定期考査の点数を総合的に評価する。	7

	指導内容	科目現代文Bの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
6 月	・問題演習 酒井邦嘉「科学者という仕事」 高階秀爾「20世紀美術」 ・問題演習 横光利一「春は馬車に乗って」 中村桂子「自己創出する生命」 ・問題演習 遠藤英樹・須藤廣「観光社会学2.0」 「YOSAKOI、実は札幌市民は嫌ってる？」 池内了「ソフトランディングの科学」 ・問題演習 前田英樹「愛読の方法」 村上陽一郎「人間にとって科学とは何か」 ・日本文学史	論理的な文章の読解を通して、現代思想のさまざまな展開の一端を理解する。 近代の随想の読解を通して、現代に通じる問題について考察する。 論理的な文章を読んで内容を理解し、記述形式の設問に答えることで、的確な表現力を養う。 論理的な文章の読解を通して、現代思想のさまざまな展開の一端を理解する。	毎時ワーク採点、記述問題の添削を行い、取り組み状況に応じて評価する。	8

		指導内容	科目現代文Bの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
7 月		期末考査	・初見の私大過去問題に取り組み、各自の読解力を把握する。 ・既習の文学史より出題し、定着を図る。	毎時ワーク採点、記述問題の添削を行い、取り組み状況に応じて評価する。加えて、定期考査の点数を総合的に評価する。	
					1

		指導内容	科目現代文Bの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
8 月					

	指導内容	科目現代文Bの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
9 月	・問題演習 綿野恵太「『差別はいけない』とみんない うけれど。」 小林傳司「トランス・サイエンスの時代」 ・問題演習 大澤真幸「自由という牢獄」 丸山圭三郎「言葉と無意識」 ・問題演習 森鷗外「阿部一族」 中村明「現代名文案内」	論理的な文章を読んで内容を理解し、記述形式の設問に答えることで、的確な表現力を養う。 近代の小説の展開についての知識を持つ。 論理的な文章を読んで内容を理解し、センター入試形式の設問に答えること で、大学入試にむけた読解力を身に着ける。	毎時ワーク採点、記述問題の 添削を行い、取り組み状況に 応じて評価する。	6

	指導内容	科目現代文Bの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
10 月	- 問題演習 郡司ペギオ幸夫「天然知能」 田中克彦「言語学とはなにか」 中間考査 - 問題演習 富岡多恵子「藤の衣に麻の衾」 中西進「亀が鳴く国」	長文の論理的な文章を読んで構成を把握しつつ内容を理解する。 センター入試形式の問題に慣れる。 ・初見の私大過去問題に取り組み、各自の読解力を把握する。 ・既習の文学史より出題し、定着を図る。	毎時ワーク採点、記述問題の 添削を行い、取り組み状況に 応じて評価する。加えて、定 期考査の点数を総合的に評価 する。	7

	指導内容	科目現代文Bの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
11 月	・問題演習 大久保賢「演奏行為論」 前田英樹「独学の精神」 ・問題演習 小林康夫「身体と空間」 山折哲雄「日本文明とは何か」 ・問題演習 加藤秀俊「社会学 わたしと世間」 山崎正和「世界文明史の試み」 ・問題演習 小川洋子「ことり」 大澤真幸「理論社会学」 ・問題演習 石牟礼道子「三毛猫あわれ一出郷と断念」 内山節「新・幸福論」	文学的な文章について、人物、情景、心情を理解する。	毎時ワーク採点、記述問題の添削を行い、取り組み状況に応じて評価する。	8

	指導内容	科目現代文Bの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
12 月	期末考査	・初見の私大過去問題に取り組み、各自の読解力を把握する。 ・既習の文学史より出題し、定着を図る。	毎時ワーク採点、記述問題の添削を行い、取り組み状況に応じて評価する。加えて、定期考査の点数を総合的に評価する。	1

	指導内容	科目現代文Bの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
1 月	大学入試問題演習	初見の大学入試問題に取り組み、大学一般入試への力をつける。	毎時ワーク採点、記述問題の添削を行い、取り組み状況に応じて評価する。	6
	大学入試問題演習	初見の大学入試問題に取り組み、大学一般入試への力をつける。		
	大学入試問題演習	初見の大学入試問題に取り組み、大学一般入試への力をつける。		

	指導内容	科目現代文Bの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
2 月	学年末考査	・初見の私大過去問題に取り組み、各自の読解力を把握する。 ・既習の文学史より出題し、定着を図る。	毎時ワーク採点、記述問題の添削を行い、取り組み状況に応じて評価する。加えて、定期考査の点数を総合的に評価する。	1

		指導内容	科目現代文Bの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
3 月					

都立篠崎高等学校 令和5年度 理科 自選化学 年間授業計画

教科：理科 科目：化学(自選) 単位数：4単位

対象学年組：第3学年

教科担当者：(若杉)

使用教科書：(東京書籍 化学)

使用教材：(東京書籍 ニューステップアップ化学)

指導内容		化学(自選)の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4 月	第3章 酸化還元反応 1 酸化と還元	酸素や水素の授受による酸化還元反応の例を学び，電子の授受による酸化・還元の定義を理解する。酸化還元反応を理解するには酸化数を利用するとよいことを学び，その変化から酸化還元の指摘ができるようになる。	教科書・問題集	10
	2 酸化剤と還元剤	酸化剤や還元剤のはたらきと，そのときに起こる化学変化を化学反応式で表せるようになる。それをもとに酸化還元の量的関係も理解する。	教科書・問題集	

5月

指導内容	化学(自選)の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
3 金属の酸化還元反応	金属が水溶液中でイオンとなることは、酸化還元反応の一つであり、イオンになるなりやすさ、つまり金属のイオン化傾向は、金属の種類で異なることを理解する。 また、金属のイオン化傾向が異なると、金属単体の性質が大きく異なることを理解し、金属の化学的性質と密接に関係していることを学ぶ。	教科書・問題集	18
4 酸化還元反応の利用	金属が水溶液中でイオンとなることは、酸化還元反応の一つであり、イオンになるなりやすさ、つまり金属のイオン化傾向は、金属の種類によって異なることを理解する。 また、金属のイオン化傾向が異なると、金属単体の性質が大きく異なることを理解し、金属の化学的性質と密接に関係していることを学ぶ。	教科書・問題集	
4 酸化還元反応の利用	金属が水溶液中でイオンとなることは、酸化還元反応の一つであり、イオンになるなりやすさ、つまり金属のイオン化傾向は、金属の種類によって異なることを理解する。 また、金属のイオン化傾向が異なると、金属単体の性質が大きく異なることを理解し、金属の化学的性質と密接に関係していることを学ぶ。	教科書・問題集	
中間考査			
第2章 電池と電気分解 1 電池	電解質水溶液と金属を利用することによって、電池ができることを復習し、それぞれの電池の電極における反応についても知る。また、電池には充電のできない一次電池と充電のできる二次電池があることを理解する。	教科書・問題集	

	指導内容	化学(自選)の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
6 月	2 電気分解	水溶液を電気分解したときにどのような物質が生成するかを理解する。また、ファラデーの法則を学び、電気分解における反応物・生成物の量は流れた電気量と密接に関連していることを、演習を通して体得する。電気分解を利用した物質の工業的製法についても学ぶ。	教科書・問題集	16
	第1編 物質の状態 第1章 粒子の結合と結晶の構造 1 原子とイオン	原子の電子配置とそれに基づく価電子の意味、また、イオンの電子配置は希ガス型の構造をとって安定化していることを理解するとともに、多原子イオンの種類や化学式の表し方を復習する。	教科書・問題集	
	2 イオン結合とイオン結晶	原子や原子団がどのようにして電気を帯びるか、その電気を帯びた粒子がどのような力によって結合するかについて復習する。さらに、イオン結晶の種類や表し方・特徴的な性質・構造を理解する。	教科書・問題集	
	3 分子と共有結合	原子どうしが結合する場合、イオン結合のように粒子が電氣的な力で結びつく以外に、価電子を共有して結びつく方法があることを復習する。また、配位結合や、電気陰性度とそれに基づく極性、分子から構成される分子結晶についても学ぶ。	教科書・問題集	

	指導内容	化学(自選)の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配 当 時 数
7 月	期末考査			
	第2章 物質の状態変化 1 粒子の熱運動	2つの気体を同一容器に分けて入れようとしても自然に混じってしまうが、その原因や温度による違いを、分子の熱運動を考えることによって理解する。また、気体の分子の熱運動から大気圧を理解し、その測定の原理を学ぶ。	教科書・問題集	4

9
月

指導内容	化学(自選)の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配 当 時 数
2 分子間力と三態の変化	三態変化の原因が分子間力であることを理解し、そのときの熱の出入りについても把握する。また、気液平衡の概念を理解し、蒸気圧、蒸発と沸騰の違い、沸点についても学ぶ。	教科書・問題集	16
3 状態変化とエネルギー	状態変化には必ず熱の出入りがあることを理解する。また、それに伴う熱量は物質や相互の状態によって異なることを学ぶ。	教科書・問題集	
4 物質の種類と物理的性質	融点や沸点が同種の物質どうしでどのように変化するか、また、物質の種類、とくに結合の種類によってどのように異なるかを、分子間力や化学結合の強弱から考察する。	教科書・問題集	

	指導内容	化学(自選)の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
10 月	第3章 気体 1 気体の体積	気体の体積と圧力との関係、温度との関係が簡単な数式で表せることを学び、これに関連する絶対温度の概念を復習する。また、温度や圧力が同時に変化した場合に気体の体積がどうなるか考える。	教科書・問題集	12
	2 気体の状態方程式	ボイル・シャルルの法則をもとにして気体の状態方程式を導くことができることを理解する。また、気体の種類によらず気体の状態方程式が成りたつことから、これを利用して気体の分子量の測定ができることを実験を通して学ぶ。	教科書・問題集	
	3 混合気体の圧力	混合気体について、ある体積をそれぞれの気体が単独で占めたときの圧力を考え、それらの関係がどのようにになっているかを理解し、さらに全体の圧力との関係も理解する。	教科書・問題集	
	4 実在気体	前項までの気体に関する法則は、あくまで理想的な粒子を考えた場合に成りたつものであって、実際に自然界に存在する気体では、ずれが生じることを理解する。	教科書・問題集	
	中間考査			
	第4章 溶液 1 溶解とそのしくみ	溶液の定義、およびイオン結晶と分子結晶や分子からなる物質における溶解のしくみの違いを理解する。	教科書・問題集	

	指導内容	化学(自選)の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
1 1 月	2 溶解度	飽和溶液の溶質、溶媒についてどのような量的な関係が成りつつかを考え、計算方法を体得する。 また、再結晶のしくみについても理解する。気体の溶解度は固体とは異なり、圧力と関係していることを理解し、計算方法も体得する。 ここで、濃度について化学基礎で学んだことを復習するとともに、質量モル濃度についても学ぶ。	教科書・問題集	12
	3 希薄溶液の性質	希薄溶液では溶質に依存しない共通の性質が現れること、その影響は沸点や凝固点、浸透圧に及ぶこと、それを利用することによって分子量の測定ができることなどを実験を通して学ぶ。	教科書・問題集	
	4 コロイド溶液	コロイド溶液には、通常の溶液とは異なるさまざまな性質があるので、できるだけ実験観察を通してそれらの現象を理解する。とくに身近なところでいろいろな形で存在するので実体験を通して学ぶ。	教科書・問題集	
	第2編 物質の変化 第1章 化学反応とエネルギー 1 化学反応と熱 2 化学反応と光	化学反応の種類と反応熱および状態変化に伴う熱などの種類と定義を学び、これらを熱化学方程式で表すことができること、また、ヘスの法則を用いると未知の熱量を計算で求められることを学ぶ。 あわせて共有結合の結合エネルギーについても学ぶ。	教科書・問題集	

	指導内容	化学(自選)の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配 当 時 数
12 月	期末考査			8
	第3章 化学反応の速さとしくみ 1 化学反応の速さ 2 反応条件と反応速度	反応速度式の表し方を学んだ後、反応物の濃度・温度・触媒によって反応速度がどのように変化するかを学ぶ。また、触媒の作用や工業的な利用の方法について実例とともに学ぶ。	教科書・問題集	
	3 化学反応のしくみ	化学反応がどのようにして進行するのかについて、活性化エネルギーを考えることによって理解する。その際、触媒は活性化エネルギーとどのような関係にあるのかを学ぶ。	教科書・問題集	
1 月	高分子化合物の性質 1 高分子化合物の構造と性質	合成高分子化合物について、組成や構造がその性質とどのように関連しているかを理解し、化学的な理解を深める。 高分子化合物全般について、分類と構造を学び、高分子化合物が生成する反応である重合反応を理解する。また、高分子化合物の性質である軟化点、熱可塑性・熱硬化性についても学ぶ。	教科書・問題集	8
	第1章 高分子化合物の性質	合成高分子化合物について、組成や構造がその性質とどのように関連しているかを理解し、化学的な理解を深める。	教科書・問題集	
	第2章 合成高分子化合物 1 合成繊維	合成高分子化合物には合成繊維と合成樹脂などがあるが、それぞれの材料の組成や構造がその特性とどのように関連しているのかを理解し、化学的な理解を深める。 縮合重合による合成繊維、付加重合による合成繊維について、いくつかの例をもとに構造や性質などを学ぶ。また、ビニロンの生成におけるアセタール化について学ぶ。	教科書・問題集	
	学年末考査			

東京都立篠崎高等学校 令和5年度 教科:理科 科目:化学基礎演習 年間授業計画

教 科：理科 科 目：化学基礎演習（自選） 単位数：2単位
対象学年組：第3学年全組
教科担当者：若杉
使用教科書：
使用教材：

	指導内容	化学基礎演習の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4 月	化学と人間生活	金属・セラミックス・プラスチックなど身の回りにある物質についてその組成などを理解する	授業態度、授業中の演習の様子、小テストの結果、実験に対する取り組み、レポート等の提出物を総合的に評価する	6

	指導内容	化学基礎演習の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
5 月	物質の構成 物質の探求	物質の分類、元素、物質の三態について理解する	授業態度、授業中の演習の様子、小テストの結果、実験に対する取り組み、レポート等の提出物を総合的に評価する	4
	原子の構造と元素の周期表	原子の構造、電子配置、元素の周期律について理解する	授業態度、授業中の演習の様子、小テストの結果、実験に対する取り組み、レポート等の提出物を総合的に評価する	4

	指導内容	化学基礎演習の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
6 月	化学結合	イオン結合、共有結合、分子間の結合、金属結合、結晶について理解する	授業態度、授業中の演習の様子、小テストの結果、実験に対する取り組み、レポート等の提出物を総合的に評価する	6
	物質の変化 物質質量	原子量、分子量、式量、物質質量について理解する	授業態度、授業中の演習の様子、小テストの結果、実験に対する取り組み、レポート等の提出物を総合的に評価する	4

	指導内容	化学基礎演習の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
7 月	物質質量	物質質量と気体、溶液の濃度について理解する	授業態度、授業中の演習の様子、小テストの結果、実験に対する取り組み、レポート等の提出物を総合的に評価する	6

	指導内容	化学基礎演習の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
8 月				

	指導内容	化学基礎演習の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
9 月	化学反応式	化学の基本法則、化学反応式の量的関係について理解する	授業態度、授業中の演習の様子、小テストの結果、実験に対する取り組み、レポート等の提出物を総合的に評価する	8

	指導内容	化学基礎演習の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
10 月	酸と塩基	酸と塩基、水素イオン濃度、pHについて理解する	授業態度、授業中の演習の様子、小テストの結果、実験に対する取り組み、レポート等の提出物を総合的に評価する	10
11 月	中和反応と塩	中和反応、中和滴定について理解する	授業態度、授業中の演習の様子、小テストの結果、実験に対する取り組み、レポート等の提出物を総合的に評価する	8
12 月	酸化還元反応	酸化還元、酸化剤、還元剤、金属のイオン化傾向	授業態度、授業中の演習の様子、小テストの結果、実験に対する取り組み、レポート等の提出物を総合的に評価する	6

	指導内容	化学基礎演習の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
1 月	電池と電気分解	電池、電気分解について理解する	授業態度、授業中の演習の様子、小テストの結果、実験に対する取り組み、レポート等の提出物を総合的に評価する	8
2 月				

	指導内容	化学基礎演習の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
3 月				

篠崎高等学校 令和3年度 教科 外国語 科目 総合英語 年間授業計画

教科:(外国語科)科目:(総合英語) 単位数:2単位 対象:第3学年総合英語選択者

教科担当者:(1組～7組:清水 佑一 印)

使用準教科書:大学入試読んで覚える英単語 全国大学入試問題正解(旺文社)

指導内容 【年間授業計画】		科目 総合英語 の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	予定 時数
4 月				
	オリエンテーション プレゼンテーション①	・1年間の学習内容や目標について確認する。 ・家庭学習や隙間時間の有効活用で語彙力を身に付けさせる。	様相観察	2
	読んで覚える英単語レベル 1 全国大学入試問題正解	・大学入試必須単語 演習 ・過去問演習 ・ペアワークQ&A	単語テスト 演習課題	2

	指導内容 【年間授業計画】	科目 総合英語 の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	予定 時数
5 月				
	読んで覚える英単語レベル 2 全国大学入試問題正解	・ 大学入試必須単語 演習 ・ 過去問演習 ・ ペアワーク Q&A	単語テスト 演習課題	2
	読んで覚える英単語レベル 3 全国大学入試問題正解	・ 大学入試必須単語 演習 ・ 過去問演習 ・ ペアワーク Q&A	単語テスト 演習課題	2

	指導内容 【年間授業計画】	科目 総合英語 の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	予定 時数
6 月				
	読んで覚える英単語レベル 4 全国大学入試問題正解	・ 大学入試必須単語 演習 ・ 過去問演習 ・ ペアワーク Q&A	単語テスト 演習課題	2
	読んで覚える英単語レベル 5 全国大学入試問題正解	・ 大学入試必須単語 演習 ・ 過去問演習 ・ ペアワーク Q&A	単語テスト 演習課題	2
	読んで覚える英単語レベル 1 全国大学入試問題正解	・ 大学入試必須単語 演習 ・ 過去問演習 ・ ペアワーク Q&A	単語テスト 演習課題	2
	読んで覚える英単語レベル 2 全国大学入試問題正解	・ 大学入試必須単語 演習 ・ 過去問演習 ・ ペアワーク Q&A	単語テスト 演習課題	2

	指導内容 【年間授業計画】	科目 総合英語 の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	予定 時数
7 月	読んで覚える英単語レベル 3 期末考査	・大学入試必須単語 演習 ・知識理解・表現の能力・理解の能力を確認する。	単語テスト 期末考査 提出物 表現	2
	読んで覚える英単語レベル 4 全国大学入試問題正解	・大学入試必須単語 演習 ・過去問演習 ・ペアワーク Q&A	単語テスト 演習課題	2
	読んで覚える英単語レベル 5 全国大学入試問題正解	・大学入試必須単語 演習 ・過去問演習 ・ペアワーク Q&A	単語テスト 演習課題	2
	夏季休業	知識が風化しないように、課題を与え、確実に言い提出させる指導を行う。	提出物による評価	2

8月	指導内容 【年間授業計画】	科目 総合英語 の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	予定 時 数
	夏季休業	知識が風化しないように、課題を与え、確実に言い提出させる指導を行う。	提出物による評価	

	指導内容 【年間授業計画】	科目 総合英語 の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	予定 時数
9 月	読んで覚える英単語レベル 1 全国大学入試問題正解	・ 大学入試必須単語 演習 ・ 過去問演習 ・ ペアワーク Q&A	単語テスト 演習課題	2
	読んで覚える英単語レベル 2 全国大学入試問題正解	・ 大学入試必須単語 演習 ・ 過去問演習 ・ ペアワーク Q&A	単語テスト 演習課題	2
	読んで覚える英単語レベル 3 全国大学入試問題正解	・ 大学入試必須単語 演習 ・ 過去問演習 ・ ペアワーク Q&A	単語テスト 演習課題	2

	指導内容 【年間授業計画】	科目 総合英語 の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	予定 時数
10 月	読んで覚える英単語レベル 4 全国大学入試問題正解	・大学入試必須単語 演習 ・過去問演習 ・ペアワーク Q&A	単語テスト 演習課題	2
	読んで覚える英単語レベル 5 全国大学入試問題正解	・大学入試必須単語 演習 ・過去問演習 ・ペアワーク Q&A	単語テスト 演習課題	2
	読んで覚える英単語レベル 1 全国大学入試問題正解	・大学入試必須単語 演習 ・過去問演習 ・ペアワーク Q&A	単語テスト 演習課題	2

	指導内容 【年間授業計画】	科目 総合英語 の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	予定 時数
11 月	読んで覚える英単語レベル 2 全国大学入試問題正解	・ 大学入試必須単語 演習 ・ 過去問演習 ・ ペアワーク Q&A	単語テスト 演習課題	2
	読んで覚える英単語レベル 3 全国大学入試問題正解	・ 大学入試必須単語 演習 ・ 過去問演習 ・ ペアワーク Q&A	単語テスト 演習課題	2
	読んで覚える英単語レベル 4 全国大学入試問題正解	・ 大学入試必須単語 演習 ・ 過去問演習 ・ ペアワーク Q&A	単語テスト 演習課題	2
	読んで覚える英単語レベル 5 全国大学入試問題正解	・ 大学入試必須単語 演習 ・ 過去問演習 ・ ペアワーク Q&A	単語テスト 演習課題	2
	読んで覚える英単語レベル 1 全国大学入試問題正解	・ 大学入試必須単語 演習 ・ 過去問演習 ・ ペアワーク Q&A	単語テスト 演習課題	2

	指導内容 【年間授業計画】	科目 総合英語 の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	予定 時 数
12 月				
	読んで覚える英単語レベル 1～5 期末考査	・大学入試必須単語 演習 ・知識理解・表現の能力・理解の能力を確認する。	単語テスト 期末考査 提出物 表現	2
	冬季休業	知識が風化しないように、課題を与え、確実に言い提出させる 指導を行う。	提出物による評価	

	指導内容 【年間授業計画】	科目 総合英語 の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	予定 時数
1 月	冬季休業	知識が風化しないように、課題を与え、確実に言い提出させる指導を行う。	提出物による評価	
	読んで覚える英単語レベル 2 全国大学入試問題正解	・大学入試必須単語 演習 ・過去問演習 ・ペアワーク Q&A	単語テスト 演習課題	2
	読んで覚える英単語レベル 3 全国大学入試問題正解	・大学入試必須単語 演習 ・過去問演習 ・ペアワーク Q&A	単語テスト 演習課題	2

2月	指導内容 【年間授業計画】	科目 総合英語 の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	予定 時数

3月	指導内容 【年間授業計画】	科目 総合英語 の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	予定 時数
	卒業式			

篠崎高等学校 令和5年度 教科 地歴公民 科目 日本史B(自由選択) 年間授業計画

教科 科： 地歴公民 科目： 日本史B 単位数： 2単位

対象学年組： 第3学年（1組～7組）

教科担当者： 服部

使用教科書：（清水書院『高等学校日本史B新訂版』）

使用教材：（山川出版社『ビジュアル版日本史図録』）

	指導内容	科目日本史Bの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4 月	古代・中世の概観	農耕の発展が私有財産をもたらし、身分の差や貧富の差をうみだしたことを展望する。 大和政権の成立や古墳文化について知る。 律令国家の仕組みや、人々の生活について理解する。 唐の影響を受けて形成された天平文化と国家仏教、美術、絵画について理解する。 院政がどのように成立し、展開したのかを理解する。また、院の信任を得て台頭した平氏が保元・平治の乱を通じて勢力を拡大したことについて理解する。 鎌倉幕府の成立過程と幕府の支配機構、将軍と御家人の主従関係等について理解する。 蒙古襲来から後醍醐天皇の討幕運動までの流れを理解する。	数次にわたる新しい国家のしくみの形成過程を、特に対外関係のインパクトを含めて正しく理解できているか。	6

	指導内容	科目日本史Bの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
5 月		室町幕府の体制を整備し、安定した支配体制を築いた足利義満の政治と、室町文化を理解する。 南北朝の動乱の中で、惣村が形成され、それが土一揆に発展していったことを理解する。 応仁の乱発生に至る過程と、その後の経過について理解する。 戦国大名の台頭と領国支配のあり方について理解する。 この時代に発展した都市やその特徴について理解する。	中世後期の社会的な変化の内容とその方向性を正しく理解できているか。 日本の伝統文化の形成について具体的に説明できたか。	5
	幕藩体制の確立	鉄砲とキリスト教の伝来を理解し、双方が日本にもたらした影響について考察する。 織豊政権の成立とその特徴について理解させる。 桃山文化について理解し、その時代背景も踏まえて考察する。	幕藩体制の具体的な仕組みとその形成過程を、特に世界史的な要因を踏まえて理解できたか。	6

指導内容		科目日本史Bの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
6 月		徳川家康による江戸幕府の成立と幕藩体制について理解する。 スペイン・ポルトガルへの警戒と諸大名の強大化をおそれた幕府のキリスト教禁教政策から、鎖国政策が展開された背景を理解する。		6
	幕藩体制の展開	由井正雪の乱をきっかけに、幕府政治の転換が図られ、将軍綱吉以来儒教的な政策がとられたことを理解する。 新田開発や農業技術の革新、および陸上交通と海上交通網の整備が進み、商業の発達と大都市の形成が見られたことを理解する。 元禄期の経済発展と上方の豪商を中心とした元禄文化の特色について理解する。	幕藩体制の安定期の経済発展や文化の特色を理解できたか。	6

		指導内容	科目日本史Bの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
7 月		幕藩体制の動揺	享保の改革の諸政策と老中田沼意次の政策について理解する。	改革が続く幕政の諸政策の意義について、正しく理解できたか。 新しい学問としてどのようなものが生まれたか、具体的に説明できるか。	5
			松平定信による寛政の改革について理解する。 宝暦・天明期の文化の諸相を知る。		

		指導内容	科目日本史Bの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
8 月					

		指導内容	科目日本史Bの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
9 月			ロシア、イギリスなどの列強の接近に対し、鎖国政策を行っていた幕府の諸政策について理解する。 水野忠邦が行った天保の改革についての理解を深める。 学問、思想、美術、生活文化における化政文化を理解する。	同上	6
	近代国家の成立		ペリー来航による日米和親条約から日米修好通商条約締結に至る経過及び内容について理解する。 ペリー来航後の幕政の混乱と幕末の諸事件、薩長連合の成立、大政奉還から江戸幕府滅亡に至る動きを理解する。	決定的な外圧の結果である幕末の動乱の意義を世界史的な視点から把握できたか。	6

	指導内容	科目日本史Bの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
10 月		明治維新の諸政策と日本の近代化について理解する。 明治初期の外交政策について理解する。 自由民権運動から大日本帝国憲法制定、帝国議会の開設における過程を理解する。 条約改正が実現した背景について考察する。 日英同盟から日露戦争に至る経緯を理解する。	日本の近代国家の内・外両面にわたる発展の様相を具体的に理解できたか。	12

		指導内容	科目日本史Bの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
11 月			日本の近代産業がどのように発展していったのかを理解する。 近代文化について理解を深める。	同上	4
	二つの世界大戦とアジア	大正政変から第一次世界大戦における日本の東アジアにおける動きについて理解する。 ヴェルサイユ体制とその後の日本の軍縮や協調外交について理解する。 第一次世界大戦後の金融恐慌について理解する。	第一次世界大戦を発端とする世界史の新たな動向と結びつきながら、日本の近代社会が変化を遂げたことを理解できたか。	8	

		指導内容	科目日本史Bの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
12 月			日本の国際連盟脱退に至る過程と国家主義が台頭し、軍部の内閣への干渉や、ドイツ、イタリアとの連携が強化されたことを理解する。	同上	3

		指導内容	科目日本史Bの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
1 月			日中戦争から太平洋戦争開戦、敗戦までの経緯について考察する。	今次の戦争について、国内の政治過程や社会的要求を踏まえて理解できたか。	6
	占領下の日本	連合軍の日本占領政策について理解する。 冷戦の開始と日本の再独立の関係を理解する。 日米安全保障条約による新たな日米関係の成立について理解を深める。			4

	指導内容	科目日本史Bの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
2 月	高度成長の時代	東西冷戦下における国内の55年体制の成立と高度経済成長を遂げたことによる経済発展、その反面として公害の深刻化について理解する。 1970年代における中国との国交正常化や高度経済成長路線の維持について理解する。	高度経済成長の様相や対外関係の特徴を統合的に理解できたか。	8

	指導内容	科目日本史Bの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
3 月	激動する世界と日本	1980年代以降の冷戦終結と日本の55年体制崩壊以降について理解する。	現在の日本の当面する状況について、自分なりの理解点をもつことができたか。	2

年間授業計画様式例

篠崎高等学校 令和5年度 公民科 政治経済 年間授業計画

教 科：公民 科 目：政治経済 単位数：2単位
対象学年組：第3学年1組～7組
教科担当者：（自由選択：唐仁原・滝田）
使用教科書：（高校 政治・経済〔実教出版〕）
使用教材：（ライブ！現代社会〔帝国書院〕）

	指導内容	政治経済の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4 月	ガイダンス 人間と政治	授業の内容や進め方・使用教材・評価の方法・許容欠席限度時数 等について確認させる。 政治には正当性が必要であることを理解させるとともに、マックスウェーバーの支配の分類について理解させる。 領域・人民・主権の3つの要素により国家が成り立っていることを理解させる。 領域 ＝ 領土・領空・領海の3つからなることを理解させる。 主権とは何かを理解させるとともに、主権の3つの意味を理解させる。		8

	指導内容	政治経済の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配 当 時 数
5 月	人間と法	自由・権利と責任・義務について考えさせる。		6
	中間考査(授業内)		授業への参加・取り組み姿勢	
	答案返却・解答解説		中間考査の状況等を総合的に判断して評価する	

	指導内容	政治経済の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
6 月	民主政治へのあゆみ 議会制民主主義とは 民主政治の基本原理 人権思想の発展 期末考査(授業内)	近代民主国家は、個人が中心であり、個人間の契約(合意)である社会契約に基づいて形成されたことを理解させるとともに、ホッブズ・ロック・ルソーの社会契約説を三者の相違点を明確にして、理解させる。 ロックが提唱した間接民主制と、ホッブズが提唱した直接民主制について詳しく理解させる。 モンテスキューが唱えた三権分立の理論は、法の支配を制度化したものであることを理解させる。 人権保障は自由権と平等権から社会権へと発展し、さらには国家の枠を越えて保障される普遍的なものへと発展していることを理解させる。	授業への参加・取り組み姿勢	8

		指導内容	政治経済の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
7 月		答案返却・解答解説		期末考査・ノート提出の状況等を総合的に判断して評価する	2
	夏季休業				

指導内容		政治経済の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
8 月	夏季休業			

	指導内容	政治経済の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
9 月	世界の政治体制	新聞やニュースを取り上げ、各国の政治のリーダーを確認させる。		8
	大日本帝国憲法の制定	民主政治には議院内閣制と大統領制があることを理解させるとともに、非民主政治には権力集中制や開発独裁などがあることを理解させる。		
	大日本帝国憲法の基本的性格	大日本帝国憲法の制定過程を理解させる。		
		大日本帝国憲法の内容を理解させる。		
		大日本帝国憲法の特徴を理解させる。		

	指導内容	政治経済の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
10 月	終戦と占領 日本国憲法の成立 中間考査(授業内) 答案返却・解答解説	日本の敗戦過程と占領時の状況を理解させる。 日本国憲法の成立過程を理解させる。 日本国憲法の基本原理を理解させるとともに、憲法は最高法規であることから、その改正は厳しい手順で行われることを理解させる。	授業への参加・取り組み姿勢 中間考査の状況等を総合的に判断して評価する	8

	指導内容	政治経済の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
11 月	日本の産業 公害・環境問題 消費者問題 雇用と労働の諸問題 社会保障の諸問題	経済の発展が産業構造の変化をもたらしたことを理解させた上で、第一次産業・第二次産業・第三次産業の詳細を理解させる。 経済発展の過程で、どのような公害問題が発生したのか。公害の悲惨な歴史や実情を理解させる。 消費者問題が発生した背景とその変遷、消費者の権利を守るための制度や機能などについて理解させるとともに、企業・政府・自治体の社会的責任についても考えさせる。 日本国憲法で保障された労働基本権が、法令のなかで、どのように具体的に実現され確立されているのかを理解させるとともに、これまでの労働慣行が最近の政治・経済状況により崩れつつあることについて、どのような問題点があるのかを考えさせる。 わが国の社会保障制度の特徴をとらえさせ、日本の社会保障制度の基本理念および基本的な枠組みを理解させる。		10

	指導内容	政治経済の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
12 月	期末考査(授業内)		授業への参加・取り組み姿勢	2
	答案返却・解答解説		期末考査・ノート提出の状況等を総合的に判断して評価する	
	冬季休業			

	指導内容	政治経済の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
1 月	経済活動のあり方と福祉の向上 政党政治と世論 選挙と政治参加「主権者教育」 学年末考査(授業内) 答案返却・解答解説	経済の語源には「世の中を治める」ことのほかに、「民を救う」、すなわち国民福祉の向上という意味も含まれていることを理解させた上で、現在の経済活動のあり方を考えさせる。 「選挙」以外にも様々な政治参加の方法があることを理解させ、主権者として政治に関わる姿勢を身に付けさせる。 選挙制度の原則や各選挙制度を学び、民主政治において、選挙は最も重要な制度であることを理解させ、「高校3年生(=18歳)」は、国家の意思形成を行っていくことができる力強い「主権者」であることを自覚させ、鼓舞する。	授業への参加・取り組み姿勢 学年末考査・ノート提出の状況等を総合的に判断して評価する	6

指導内容		政治経済の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
2 月	個別対応			

指導内容		政治経済の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
3 月	個別対応			
	春季休業			

篠崎 高等学校 令和5年度（3学年用） 教科 芸術 科目
教科： 芸術 書道Ⅰ 単位数： 単位
対象学年組：第 3 学年
教科担当者：+B4B5・AC5 自由選択
使用教科書：（ 高校硬筆の練習（教育図書）
教科 芸術 の目標：

【知識及び技能】 美しい文字の書き方、漢字の変遷、各書体に特有の字形や線質の特徴について理解する。
【思考力、判断力、表現力等】 美しい文字の価値と根拠について考え、書き方を理解し味わって捉える。

【学びに向かう力、人間性等】 漢字の書体の変遷やその背景にある歴史や文化に関心を持ち、主体的に日常の書として学習活動に取り組む。

科目	書道Ⅰ	の目標：
【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
・知識 〔表現〕書体や書風と用筆・運筆との関わりについて理解する。 〔鑑賞〕線質、字形、構成法の要素と表現効果や風趣との関わり、日本及び中国等の文字と書の伝統と文化について理解する。 ・技能 五書体に基づく基本的な用筆・運筆の技能、線質、字形や構成を生かした応用表現を身につける。	〔表現〕古典・古筆等の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し工夫する。 〔鑑賞〕古典・古筆等の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉える。	〔表現〕主体的に書道の幅広い表現の学習活動に取り組む。 〔鑑賞〕主体的に書道の幅広い鑑賞の学習活動に取り組む。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			賞鑑	評価規準	知	思	態	数時当配
			漢	仮	仮						
1 学 期	○単元 楷書 【知識及び技能】 ・知識 〔表現〕美しい文字に関心をもち、意欲的、主体的な表現に取り組ませる。 〔鑑賞〕基本的な用具・用材に関する知識や姿勢・執筆に関する知識について理解させる ・技能 用筆と形や線質との関係に関心をもち、意欲的、主体的な表現に取り組ませる。 【思考力、判断力、表現力等】 〔表現〕書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し工夫させる。 〔鑑賞〕字形の根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉えさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 〔表現〕主体的に漢字の書の幅広い表現の学習活動に取り組ませる。 〔鑑賞〕主体的に漢字の書の幅広い鑑賞の学習活動に取り組ませる。	・指導事項 〔楷書〕 漢字検定三級程度の常用漢字 偏 旁 新字と旧字 ・教材 高校硬筆の練習（教育図書）			○	○	【知識及び技能】 ・知識 〔表現〕古典の書体や書風と用筆・運筆との関わりについて理解している。 〔鑑賞〕線質、字形、構成法の要素と表現効果や風趣との関わり、日本及び中国等の文字と書の伝統と文化について理解している。 ・技能 用筆と形や線質との関係に関心をもち、意欲的、主体的な表現に取り組もうとしている。 【思考力、判断力、表現力等】 〔表現〕書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し工夫している。 〔鑑賞〕字形の根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉えている。 【学びに向かう力、人間性等】 〔表現〕美しい文字に関心をもち、意欲的、主体的な表現に取り組もうとしている。 〔鑑賞〕基本的な用具・用材に関する知識や姿勢・執筆に関する知識について理解しようとしている。	○	○	○	16

2 学 期	○単元 漢字の書 【知識及び技能】 ・知識 〔表現〕書体や書風と用筆・運筆との関わりについて理解している。 〔鑑賞〕線質、字形、構成法の要素と表現効果や風趣との関わり、文字と書の伝統と文化について理解している。 ・技能 - 基本的な用筆・運筆の技能、線質、字形や構成を生かした表現を身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】 〔表現〕書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し工夫している。 〔鑑賞〕書写用具により異なる書き方の根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉えている。 【学びに向かう力、人間性等】 〔表現〕主体的に漢字の書の幅広い表現の学習活動に取り組もうとしている。 〔鑑賞〕主体的に漢字の書の幅広い鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	・指導事項 〔行書〕 速記 省略体 草書 メモ書き 筆ペン 小筆 上記の書写様式の異なりから書風、表現を学ばせる。 〔創作〕 これまで学んだ書体・書風を生かし、生徒各自が選んだ漢文(熟語等も含む)を消書させる。また様々な創作例を鑑賞し、作品に応用させる。 ・教材 高校硬筆の練習（教育図書）			○	○	【知識及び技能】 ・知識 〔表現〕用筆・運筆との関わりについて理解している。 〔鑑賞〕線質、字形、構成法の要素と表現効果や風趣との関わり、文字と書の伝統と文化について理解している。 ・技能 - 基本的な用筆・運筆の技能、線質、字形や構成を生かした表現を身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】 〔表現〕古用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し工夫している。 〔鑑賞〕書写用具により異なる書き方の根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉えている。 【学びに向かう力、人間性等】 〔表現〕主体的に漢字の書の幅広い表現の学習活動に取り組もうとしている。 〔鑑賞〕主体的に漢字の書の幅広い鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	○	○	○	20
	○単元 仮名の書 【知識及び技能】 ・知識 〔表現〕線質や書風、用筆・運筆との関わりについて理解させる。 〔鑑賞〕線質、字形、構成法の要素と表現効果や風趣との関わり、日本の文字と書の伝統と文化について理解させる。 ・技能 - 仮名の古筆に基づく基本的な用筆・運筆の技能、線質、字形や構成を生かした表現を身につけさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 〔表現〕仮名の古筆や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し工夫させる。 〔鑑賞〕仮名の古筆の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉えさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 〔表現〕主体的に仮名の書の幅広い表現の学習活動に取り組ませる。 〔鑑賞〕主体的に仮名の書の幅広い鑑賞の学習活動に取り組ませる。	・指導事項 仮名の成立と種類についての説明、時代背景等、特徴的な筆遣いを理解させる。仮名の基本的な筆遣い（横の線、縦の線、転折、円運動、結びなど）を指導。 平仮名・変体仮名の指導。 ・教材 高校硬筆の練習（教育図書）			○	○	【知識及び技能】 ・知識 〔表現〕線質や書風、用筆・運筆との関わりについて理解している。 〔鑑賞〕線質、字形、構成法の要素と表現効果や風趣との関わり、日本の文字と書の伝統と文化について理解している。 ・技能 - 仮名の古筆に基づく基本的な用筆・運筆の技能、線質、字形や構成を生かした表現を身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】 〔表現〕仮名の古筆や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し工夫している。 〔鑑賞〕仮名の古筆の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉えている。 【学びに向かう力、人間性等】 〔表現〕主体的に仮名の書の幅広い表現の学習活動に取り組もうとしている。 〔鑑賞〕主体的に仮名の書の幅広い鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	○	○	○	6

	○単元 仮名の書 【知識及び技能】 ・知識 〔表現〕線質や書風、用筆・運筆との関わりについて理解させる。 〔鑑賞〕線質、字形、構成法の要素と表現効果や風趣との関わり、日本の文字と書の伝統と文化について理解させる。 ・技能 平仮名に基づく基本的な用筆・運筆の技術、線質、字形や構成を生かした表現を身につけさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 〔表現〕平仮名の書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し工夫させる。 〔鑑賞〕平仮名の価値とその根拠について考え、書の下さや美しさを味わって捉えさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 〔表現〕主體的に仮名の書の幅広い表現の学習活動に取り組ませる。 〔鑑賞〕主體的に仮名の書の幅広い鑑賞の学習活動に取り組ませる。	・指導事項 平仮名 現代文 文人の草稿	上記を学び、様々な書風、表現を学ばせる。 【創作】 これまで学んだ仮名の書風を生かし、生徒各自が選んだ和歌完成させる。また様々な創作例を鑑賞し、作品に応用させる。 ・教材 高校硬筆の練習（教育図書）				○ ○	○ ○ ○ ○	14
3学期	○単元 漢字仮名交じりの書 【知識及び技能】 ・知識 〔表現〕用具・用材の特徴と表現効果との関わり、名筆や現代の書の表現と用筆・運筆との関わりについて理解させる。 〔鑑賞〕線質、字形、構成法の要素と表現効果や風趣との関わり、漢字仮名交じりの書の成立について理解させる。 ・技能 目的や用途に即した効果的な表現、漢字と仮名の調和した線質による表現の技術を身につけさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 〔表現〕漢字と仮名の調和した字形、文字の大きさ、全体の構成、目的や用途に即した表現形式、意図に基づいた表現、名筆を活かした表現や現代に生きる表現について構想し工夫させる。 〔鑑賞〕創造された作品の価値とその根拠、生活や社会における書の効用について考え、書の下さや美しさを味わって捉えさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 〔表現〕主體的に漢字仮名交じりの書の幅広い表現の学習活動に取り組ませる。 〔鑑賞〕主體的に漢字仮名交じりの書の幅広い鑑賞の学習活動に取り組ませる。	・指導事項 漢字仮名交じりの短文について指導。漢字と仮名の調和や自由な紙面構成などの表現の特徴を理解させる。また用具・用材の違いによる表現の違いも理解させる。 制作を通して、作品制作の楽しさ、難しさ、表現の多様さを感じさせる。心に響く言葉、好きな言葉を素材に作品制作させる。 作品鑑賞会により、生徒相互の意見を述べさせ、評価させる。					○ ○	○ ○ ○ ○	6 合計 62